

事務事業評価報告書

令和6年1月

山武市

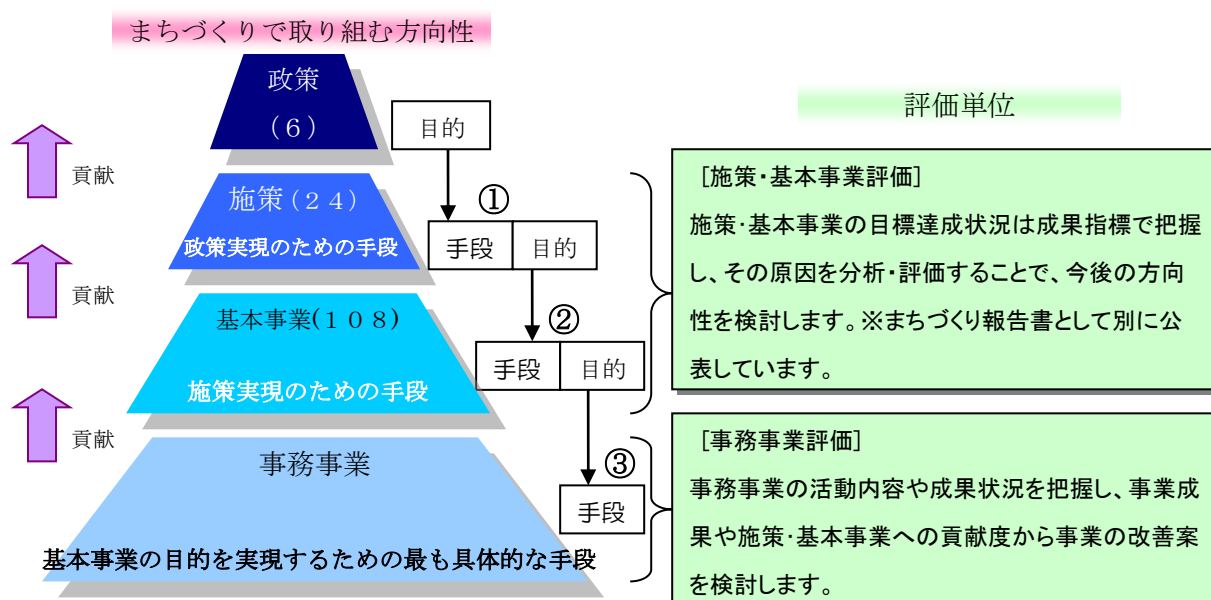
1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1) 施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として24の「施策」を設定し、さらに施策を108の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進するものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前提としています。

● 総合計画の施策体系と評価単位



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

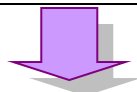
このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならない、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2) 事務事業評価の組織決定について

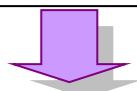
① 事業課の評価（1次評価）

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



② 全庁視点での評価（2次評価）

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局（総務課・財政課・企画政策課の合同組織）と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③ 評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3) 事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、令和4年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計 130 事業について公開します。

具体的には、「実施計画 2022」、「令和4年度決算における主な事業」及び「行政改革関連事業」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

■令和4年度の事務事業評価結果

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
	1 地域核をネットワークする都市整備の推進				
	1 道路網の整備・維持管理				
			作田川関連市道整備事業	土木課	8
			成東259号線道路改良事業	土木課	9
			上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	10
			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	11
			橋梁長寿命化修繕事業	土木課	12
			緑海239号線道路改良事業	土木課	13
	2 成田空港周辺地域としての基盤整備				
			成田空港周辺対策道路・水路整備事業	土木課	14
	3 浸水対策の推進				
			松尾駅周辺排水対策事業	土木課	15
	6 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用				
			地籍調査事業	土木課	16
			空家等対策事業	都市整備課	17
	99 施策の総合推進				
			被災者住宅再建資金利子補給事業	都市整備課	18
	2 公共交通網の整備・充実				
	1 市内における交通手段の確保				
			身近な公共交通確保事業	企画政策課	19
	2 バスでの主要都市へのアクセス向上				
			空港シャトルバス利用促進事業	空港地域振興課	20
	3 防災・減災対策の推進				
	1 地域防災力の向上				
			自主防災組織育成事業	消防防災課	21
	3 防災意識の向上				
			防災訓練実施事業	消防防災課	22
			宅地耐震化推進事業	都市整備課	23
	4 消防力の充実				
			消防ポンプ車等整備事業	消防防災課	24
			消防団運営事業	消防防災課	25
	99 施策の総合推進				
			地域防災計画改定事業	消防防災課	26
	2 住みやすい環境と安全なまちづくり				
	1 生活環境の充実				
	2 美化運動の推進と不法投棄防止対策				
			不法投棄パトロール事業	環境保全課	27
	3 航空機騒音等の対策				
			航空機騒音障害防止対策費交付事業	空港地域振興課	28
			航空機騒音対策空調機器設置事業	空港地域振興課	29
	3 自然環境の保全				
	1 自然環境保全活動の推進				
			地球温暖化防止対策事業	環境保全課	30
	5 汚水処理の推進				
			浄化槽設置支援事業	環境保全課	31

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
	5 防犯・交通安全の推進				
		3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備			
			防犯灯維持管理事業	市民自治支援課	32
		4 消費者トラブルの防止			
			消費生活相談事業	商工観光課	33
	3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり				
	1 農林水産業の振興				
		1 経営の安定化の推進			
			経営所得安定対策推進事業	農政課	34
		2 担い手の育成・支援			
		認定農業者育成事業	農政課	35	
		地域農業経営支援事業	農政課	36	
5 農業基盤整備の推進					
		農業水路等長寿命化・防災減災事業	農政課	37	
		ほ場整備事業	農政課	38	
6 森林再生の推進					
		災害に強い森づくり事業	農政課	39	
		自治体連携森林整備事業	農政課	40	
99 施策の総合推進					
		農業委員会運営事業	農業委員会事務局	41	
2 商工業の振興と地域経済活性化					
	1 市内消費の向上				
		地域応援クーポン券事業	商工観光課	42	
	2 経営体の体質強化・育成				
		エコノミックガーデニング推進事業	商工観光課	43	
	3 企業立地と企業定着による雇用の推進				
		企業誘致促進事業	企画政策課	44	
3 観光の振興					
	2 海岸を活用した観光推進				
		海水浴場維持管理安全対策事業	商工観光課	45	
		美しい海水浴場次世代継承事業	商工観光課	46	
	3 観光情報の発信				
		観光PR事業	商工観光課	47	
4 だれもが生きがいをもち安心して暮らせるまちづくり					
	1 高齢者福祉の充実				
		3 安全・安心な生活への仕組みづくり			
			緊急通報ネットワーク事業	高齢者福祉課	48
	2 障がい者(児)福祉の充実				
		1 自立支援サービスの促進			
			障害者自立支援事業	社会福祉課	49
		4 児童発達支援の充実			
		障害児通所等支援事業	社会福祉課	50	
	3 健康づくりの推進				
		1 心身の健康管理の充実			
			新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康支援課	51
		3 母子の健康管理			
			小児予防接種事業	健康支援課	52
		4 医療体制の充実			
			地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業	健康支援課	53

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
	4 子育ての支援				
		1 幼保機能の充実			
			ちびっこ国際交流事業	子育て支援課	54
			こども園施設整備事業	子育て支援課	55
		2 子育て不安の軽減			
			子育て世代包括支援センター等事業	健康支援課	56
		3 子育て家庭への援助			
			子ども医療費助成事業	子育て支援課	57
			高校生等医療費助成事業	子育て支援課	58
			子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	子育て支援課	59
		6 次世代育成に係る家族形成の支援			
			三世代同居等支援事業	企画政策課	60
			結婚応援事業	企画政策課	61
	5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進				
		3 生活困窮者自立支援の充実			
			生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	62
			住民税非課税世帯等臨時給付金給付事業	社会福祉課	63
		4 生活保護制度の適正な実施			
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	64
	5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
	1 学校教育の充実				
		1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進			
			小学校用備品整備事業(管理)	子ども教育課	65
			英語教育推進事業	子ども教育課	66
			学力向上支援事業	子ども教育課	67
		4 ICT教育の実践			
			I C Tサポート事業	子ども教育課	68
		5 教育環境の整備			
			小中学校閉校・開校事業	教育総務課	69
			小学校施設整備事業	施設整備課	70
			中学校施設整備事業	施設整備課	71
			松尾小学校新校舎整備事業	施設整備課	72
			小学校施設改修事業	施設整備課	73
			中学校施設改修事業	施設整備課	74
			小学校空調設備改修事業	施設整備課	75
			通学バス運行事業	教育総務課	76
			成東学校給食センター施設管理運営事業	学校給食センター	77
			学校給食センター施設整備事業	学校給食センター	78
		6 地域と学校の協力体制の推進			
			地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業	子ども教育課	79
			コミュニティ・スクール推進事業	子ども教育課	80
	2 生涯学習の推進				
		2 生涯学習施設の利用促進			
			成東文化会館施設管理事業	文化会館	81
			成東中央公民館施設管理運営事業	公民館	82
			松尾公民館施設管理事業	公民館	83
			松尾図書館運営事業	図書館	84
			さんぶの森公園グリーンタワー外壁等改修事業	運動公園管理事務所	85
			さんぶの森公園改修事業	運動公園管理事務所	86
			さんぶの森公園ふれあいセンター施設改修事業	運動公園管理事務所	87

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
		3 文化財の保護・活用			
			食虫植物群落保護管理事業	歴史民俗資料館	88
			歴史民俗資料館改修事業	歴史民俗資料館	89
			伊藤左千夫顕彰事業	歴史民俗資料館	90
		5 青少年の育成			
			成人式開催事業	生涯学習課	91
			少年海外派遣支援事業	生涯学習課	92
		99 施策の総合推進			
			生涯学習振興大会開催事業	生涯学習課	93
		3 スポーツの振興			
		1 スポーツ活動の充実			
			スポーツ協会補助事業	スポーツ振興課	94
		3 体育施設の利用促進			
			松尾運動公園管理事業	運動公園管理事務所	95
			蓮沼スポーツプラザ施設改修事業	運動公園管理事務所	96
		4 人権尊重のまちづくり			
		1 人権教育・人権啓発の推進			
			子ども人権(CAP)事業	子ども教育課	97
		2 人権擁護の推進			
			人権相談事業	市民自治支援課	98
	6 市民と行政が協働してつくるまちづくり				
		1 協働と交流によるまちづくり			
		2 市民活動の活性化			
			地域まちづくり事業	市民自治支援課	99
		3 市民活動施設の利用促進			
			コミュニティ施設整備支援事業	市民自治支援課	100
		2 開かれた市政とまちの魅力発信			
		1 情報発信力の充実			
			ふるさと納税推進事業	企画政策課	101
			広報さんむ作成・発行事業	秘書広報課	102
			さんむの魅力発信事業	秘書広報課	103
		3 議会情報の公開の推進			
			議会だより作成事業	議会事務局	104
			議会改革推進事業	議会事務局	105
		3 計画的・効率的な行財政運営			
		1 行政経営の推進			
			行政評価制度推進事業	企画政策課	106
		2 人材育成と効率的な組織運営			
			職員研修事業	総務課	107
			人事評価事業	総務課	108
			組織体制見直し事業	総務課	109
			定員適正化推進事業	総務課	110
			ワークライフバランス推進事業	総務課	111
		3 健全な財政運営			
			指定管理者指定事業	企画政策課	112
			予算管理事業	財政課	113
			基金管理事業	財政課	114
		4 税収の確保			
			滞納整理事務事業	収税課	115
			市税等徴収事務事業	収税課	116

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		
			本庁舎整備事業	財政課	117
			公共施設マネジメント事業	財政課	118
			さんぶの森交流センターあららぎ館施設管理事業	山武出張所	119
			蓮沼出張所管理運営事業	蓮沼出張所	120
			松尾IT保健センター施設等改修事業	松尾出張所	121
			学校等跡地利活用検討事業	企画政策課	122
			6 情報化の推進と適正管理		
			情報通信機器管理事業	総務課	123
			電子自治体構築事業	総務課	124
			99 施策の総合推進		
			例規・法制支援事業	総務課	125
			4 公正確実な事務の執行		
			1 適正な会計処理		
			出納係事務費	会計課	126
			3 監査の充実		
			監査委員事務局事務費	監査委員事務局	127
			監査委員活動費	監査委員事務局	128
			4 情報公開及び個人情報保護の推進		
			情報公開・個人情報保護事業	総務課	129
			5 窓口サービスの向上		
			受付案内事業	総務課	130
			戸籍事務費	市民課	131
			窓口サービス向上事業	市民課	132
			山武出張所事務費	山武出張所	133
			蓮沼出張所事務費	蓮沼出張所	134
			松尾出張所事務費	松尾出張所	135
			6 公平・公正な課税		
			個人住民税賦課事業	課税課	136
			固定資産税賦課事業	課税課	137

事務事業名 作田川関連市道整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 15 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 619

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

県河川改修事業で設置する管理用道路（幅員3m）の設置にあたり、市が隣接地（2m～4m）の用地確保を行うことにより県が管理用道路を兼ね市道整備を行います。
現在河川に架設されている橋梁の架替えに伴う工事及び市道整備に関する負担金を県に納入します。
事業費 620,000千円（県への負担金）80,000千円（用地買収費）合計700,000千円
架替え対象橋梁数 8箇所、市道整備延長 5.28Km
市道整備箇所 山武市成東地先（加持橋）～山武市森地先（日向橋） 山武市成東地先（市役所脇）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
用地交渉回数	回	4	3	20
成果状況				
用地取得済面積	m ²	6,734.2	6,734.2	6,900

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	55,434	0	0	52,600	0	2,834	
04年度 実績							
05年度 当初	3,248	0	0	3,000	0	248	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
用地交渉を継続して行っているが取得出来ず、市道整備事業が遅延しています。
<原因>
千葉県主体の作田川改修事業であり、用地取得の条件が整わず、交渉が難航しているのが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	6.8	9.31	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	1	0

事務事業名 成東 2 5 9 号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 25 年度 ～ 令和 05 年度			事務事業整理番号 1762

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
整備内容 延長1.2km 幅員12.5m
総事業費 600,000千円
平成25年度 交差点部詳細設計
平成26年度 用地測量、設計、関係機関協議
平成27年度 用地買収
平成28年度 用地買収、工事
平成29年度 用地買収、工事
平成30年度 用地買収、工事
令和 2 年度 用地買収、工事
令和 4 年度 工事
平成29年度 用地買収、工事
令和元年度 用地買収、工事
令和 3 年度 用地買収、工事
令和 5 年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
年度当たりの市道成東259号線道路改良延長	m	267	0	400
年度当たりの道路用地買収面積	m ²	0	0	420.19
成果状況				
市道成東259号線道路改良済延長	m	800	800	1,200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	72,914	19,989	0	50,200	0	2,725	50,551
04年度 実績	17,911	640	0	16,400	0	871	34,000
05年度 当初	38,203	5,000	0	31,500	0	1,703	(19,218)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
市道改良延長は0mです。
＜原因＞
令和4年度は、なるとうこども園前の暫定交差点改良工事を実施しましたが、令和5年度に繰越をしているため、改良延長はありません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	6.8	9.31	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	1	0

事務事業名 上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ～ 令和 05 年度		
事務事業整理番号			1796

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と防災拠点である成東総合運動公園へのアクセス道路を整備します。
整備内容 延長=1.8km 幅員=10.5m
総事業費 359,000千円
平成26年度 用地測量、設計
平成27年度 設計、関係機関協議
平成28年度 工事発注
平成29年度 用地買収、文化財調査、工事
平成30年度 用地買収、工事 令和元年度 用地買収、工事
令和2年度 用地買収、工事 令和3年度 用地買収、工事
令和4年度 工事 令和5年度 工事（事業完了）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
年度当たりの道路改良延長	m	0	540	400
関係機関との協議回数	回	3	3	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	860	1,400	1,800

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	37,337	4,865	0	25,200	0	7,272	38,618
04年度 実績	28,807	9,500	0	8,500	5,797	5,010	33,644
05年度 当初	51,000	25,000	0	22,500	0	3,500	(41,611)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市道改良延長は540mです。
<原因>
令和3年度からの繰越工事を実施しました。
令和4年度は、320mの完成断面による工事を実施しておりますが、令和5年度に繰越をしているため、改良延長には計上しておりません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	6.8	9.31	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	1	0

事務事業名 蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ～ 令和 09 年度		
事務事業整理番号			1797

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼地区の海岸周辺市民 災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、蓮沼地域（殿下・川下地区）から防災拠点である蓮沼避難タワーへのアクセス道路を整備します。 整備内容 延長=1.6km 幅員=10.0m 総事業費 452,000千円			
平成26年度	用地測量、設計		
平成27年度	設計、関係機関協議		
平成28年度	工事着手	平成29年度	用地買収、工事
平成30年度	用地買収、工事	令和元年度	用地買収、工事
令和2年度	用地買収、工事	令和3年度	用地買収、工事
令和4年度	用地買収、工事	令和5年度	用地買収、工事
令和6年度	用地買収、工事	令和7年度	用地買収、工事
令和8年度	工事	令和9年度	工事完了予定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
年度当たりの市道改良延長	m	142	390	90
関係機関との協議回数	回	2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	597	987	1,077

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	38,464	15,290	0	22,000	0	1,174	62,925
04年度 実績	27,842	12,300	0	14,700	842	0	56,322
05年度 当初	85,975	30,250	0	52,900	0	2,825	(47,227)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 市道改良延長は390mです。
<原因> 前年度からの繰越工事を実施しました。 令和4年度は、90mの完成断面による工事を実施しておりますが、令和5年度に繰越をしているため、改良延長には計上しておりません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	6.8	9.31	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	1	0

事務事業名 橋梁長寿命化修繕事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1826

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

橋りょう通行者の安全が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市で管理する橋梁について、平成25年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事を実施します。
道路交通安全性を確保するため、目視等の点検を実施し、計画見直しを行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

年間橋梁修繕件数

単位	03年度	04年度	05年度
件	4	6	4

成果状況

橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数

件	0	0	0
---	---	---	---

年間の橋梁点検件数

件	115	184	67
---	-----	-----	----

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	89,553	44,793	0	18,000	0	26,760	
04年度 実績	23,749	4,530	0	8,700	0	10,519	46,865
05年度 当初	66,037	28,115	0	12,800	0	25,122	(26,305)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

修繕工事費が年度ごとに上昇し、事業費の確定が困難ではあるが、修繕計画上の範囲内にて対応できている。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	6.8	9.31	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	1	0

事務事業名 緑海239号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2069

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
整備内容 延長0.3km 幅員12m
総事業費 175,000千円
令和元年度 地質調査、測量設計、用地測量
令和2年度 鑑定、物件調査、用地買収
令和3年度 用地買収、工事
令和4年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
年度当りの市道緑海239号線道路改良延長	m	227	23	0
成果状況				
市道緑海239号線道路改良済延長	m	227	250	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	34,891	16,507	0	17,400	0	984	43,386
04年度 実績	51,174	6,000	0	40,100	0	5,074	6,392
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市道の改良延長は23mです。
<原因>
相続登記に時間を要しましたが、概ね事業が順調に進んだため、令和4年度を以って事業完了しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	6.8	9.31	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	1	1	0

事務事業名 成田空港周辺対策道路・水路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	成田空港周辺地域としての基盤整備	
計画年度	平成 29 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成田空港周辺地域（松尾地区・蓮沼地区）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成田空港へのアクセス道路整備や、その整備の影響に伴う付帯施設の整備を行い、生活道路機能の充実と、安全・利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅や側溝等の整備により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。

整備箇所 松尾地区・蓮沼地区

工事選定までの流れ

現地調査→工事箇所の選定

→地元協議→測量・調査→用地・補償→工事実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

市の管理する生活道路・水路の測量調査及び工事件数

単位

03年度

04年度

05年度

件

38

63

30

成果状況

工事延長

m

1,454

1,872

2,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	84,074	0	0	0	84,074	0	22,076
04年度 実績	97,230	0	0	0	53,784	43,446	7,862
05年度 当初	112,039	0	0	0	3,000	109,039	(20,843)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり

②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
緊急性や重要性を勘案し、地元協力のもと工事を実施しております。
<原因>
計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	箇所	114	177	48

事務事業名 松尾駅周辺排水対策事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	浸水対策の推進	
計画年度	平成 28 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 1902

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 浸水区域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

浸水区域が減少し、浸水被害が低減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

浸水被害状況及び浸水区域を把握し、実施設計により対策工法を検討し、浸水対策工事を実施します。	
H28 基本設計	検討面積：151ha
H29 実施設計	設計対象面積：46ha 工事延長L=1,818m 雨水貯留施設1基
H30 対策工事	
R元 対策工事	
R2 対策工事	
R3 対策工事	
R4 対策工事	
R5 対策工事	

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
浸水対策工事実施延長	m	344	175	150
		0	0	0
成果状況				
浸水面積	ha	46	46	46
			0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	99,065	0	0	94,100	0	4,965	156,459
04年度 実績	299	0	0	200	0	99	334,134
05年度 当初							(1,002,853)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 周辺の水害が低減されました。
<原因> 雨水貯留施設が完成し、流末の整備を実施したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
床上浸水件数	件	0	0	0

事務事業名 地籍調査事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	平成 07 年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			635

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市域の土地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

土地の境界と面積等が明確になり、正確な土地の状況が登記簿と公図に反映されます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武地区を対象として、土地一筆ごとにその所有者、地番、地目、境界の調査を行い、測量を実施することにより、正確な地図「地籍図」と簿冊「地籍簿」を作成します。
・土地調査（公図・登記簿の閲覧）
・説明会の開催
・一筆地調査
・地籍測量
・土地所有者による閲覧
・国・県の認証
・地籍図と地籍簿を法務局へ送付
・固定資産税に係る賦課資料を課税課へ送付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
説明会開催回数	回	0	0	1
立会い調査回数	回	317	352	330
成果状況				
地籍調査実施面積	km ²	0.85	0.78	0.74
地籍調査後の法務局に送付した筆数	筆	0	177	677

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	36,418	0	20,051	0	115	16,252	
04年度 実績	45,378	0	19,935	0	117	25,326	
05年度 当初	48,057	0	23,072	0	114	24,871	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました。立会い調査は、当初計画どおり0.74km²を順調に進めることができました。法務局への成果送付は、昨年度送付できなかった椎崎(8)地区の成果を送付できましたが、椎崎(9)・矢部(1)地区の成果送付ができませんでした。
＜原因＞
椎崎(9)・矢部(1)地区の国への認証請求は済んでいます、承認待ちで日数を要しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
空家対策数（計画期間累計）	件	47	62	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 空家等対策事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1999

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、空家等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市空家等対策計画に基づく空家等対策事業の実施により、空家等が適正に管理されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空家等対策計画に基づき以下のとおり空家対策を実施しました。
①空家の発生抑制・予防
・啓発事業の実施、現地調査、助言書の通知
②管理不全の解消
・特定空家等の認定及び指導等の実施
③利活用・市場流通の促進
・空き家バンクの運用、啓発事業の実施
④その他
・空家等対策協議会の開催
・計画改定のための実態調査の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
空家対策協議会の回数	回	2	1	3
空家への通知、指導数	件	62	55	50
成果状況				
空家の相談件数	件	102	94	50
特定空家の認定数（累計）	件	8	8	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	5,892	0	0	0	0	5,892	
04年度 実績	8,315	2,689	1,344	0	0	4,282	
05年度 当初	10,851	165	0	0	0	10,686	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
空家の相談件数は94件で前年度と比較して8件減少しました。特定空家等の新規認定は0件で累計認定数は8件となっており、成果状況は維持・横ばいです。
＜原因＞
空家対策事業の実施により改善された管理不全な空家もあり相談件数の減少に繋がったものと思われます。特定空家等の認定は0件となったものの認定に係る法定協議会との協議は実施済みです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
空家対策数（計画期間累計）	件	47	62	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 被災者住宅再建資金利子補給事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度		事務事業整理番号	1535	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

被災住宅を再建する被災者等の借入金における利子の一部を補助するものとなります。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

被災者等の経済的負担を軽減することができます。

事務事業の内容、やり方、手順

令和元年の台風15号による被災者等が被災住宅に代わる住宅の建設もしくは購入を行うものおよび市内の被災住宅の補修を行う方が金融機関から資金を借り入れた場合において、その利子の一部を補助しています。

1. 令和元年台風15号
令和元年9月9日以降に金融機関から融資を受けた方
(令和4年3月31日までの申込者対象)
2. 既申込者からの利子補給金請求の受付
3. 既申込者に利子補給金の交付
4. 県に補助金の請求
5. 県からの補助金の受理

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
利子補給金交付申請受付件数	件	3	2	2
成果状況				
利子補給金交付件数	件	3	2	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	66	0	61	0	0	5	
04年度 実績	99	0	87	0	0	12	
05年度 当初	212	0	168	0	0	44	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ● 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
利子補給金交付件数が、令和3年度より1件減少しておりますが、順調です。
<原因>
その理由としては、対象市民からの交付中止申請によるものであり、交付申請を行った市民への交付率は100%となっており、適切な運営と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実	
基本事業番号	01	基本事業名	市内における交通手段の確保	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 102

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 交通弱者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

日常生活の移動手段が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

・山武市地域公共交通活性化協議会へ補助金を交付し、協議会運営、基幹バス及び乗合タクシーの運行等を実施 ・現交通計画が令和5年度で終期となることから、次期交通計画策定のため、令和4年度では、アンケート調査及び課題整理等を実施 ・基幹バス新規路線の実証実験が終了（R3.10～R4.9） ・平成30年度に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」に基づき、各交通手段の連携・維持向上を図り、より公共交通をしやすい環境づくりに取り組みます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数	回	40,527	33,855	33,855

成果状況	単位	03年度	04年度	05年度
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	218	217	217

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	126,820	0	0	0	0	126,820	568
04年度 実績	89,653	0	0	0	0	89,653	
05年度 当初	100,000	0	0	0	0	100,000	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 基幹バス・乗合タクシーの1日あたりの利用者数は、前年と比べ1人減少し、約1%低下しました。
＜原因＞ 1日あたりの利用者数について、コロナ禍からの回復基調の中、基幹バスは13人の増加、乗合タクシーは14人の減少となっており、乗合タクシーの運賃改定の影響が利用者低下の要因のひとつとして考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市内移動の交通手段に困っている市民の割合	%	36.5	36.1	35.8
基幹バスの年間利用者数	人	38,792	43,507	48,000
乗合タクシーの年間利用者数	人	39,822	34,453	47,000
バス運行状況の満足度	%	41.8	41.2	39

事務事業名 空港シャトルバス利用促進事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実
基本事業番号	02	基本事業名	バスでの主要都市へのアクセス向上
計画年度	平成 13 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 105

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 芝山鉄道延伸連絡協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図ります。 <バスの運行ルート等> 空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所） 大型バス2台で1日往復12便 乗車料金：1回300円(ICカード利用270円) ※小学6年生まで及び障害者150円(ICカード135円)、小学6年生までの障害者80円(ICカード68円)、保護者同伴の乳幼児無料
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
年間運行のべ回数	本	8,760	8,756	8,760
協議会（総会・幹事会）の開催回数	回	4	3	3
成果状況				
年間利用者数（山武市内9停留所）	人	17,090	19,277	41,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	26,111	0	0	0	948	25,163	
04年度 実績	22,771	0	0	0	0	22,771	
05年度 当初	59,227	0	0	18,700	9,000	31,527	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 年間利用者が令和3年度と比較して2,187人増加しています。 <原因> 新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、空港従事者や観光客等の空港利用者が増加したと思われます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数	人	692	808	1,470
成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	人	42.1	47.8	95

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	01	基本事業名	地域防災力の向上
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 1072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区、自治会
自主防災組織

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に自分たちの地域の自主的な災害復旧活動が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。
・結成した自主防災組織を対象に1組織当たり40万円を限度に必要な資機材の購入費に補助金を交付します。
・自主防災組織の活動費として、世帯数に応じて補助金を交付します。
・自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数	回	3	3	5
活動促進事業補助金交付件数	件	13	19	20
成果状況				
新規結成自主防災組織数（当該年度）	組織	5	0	5
自主防災組織数（合計）	組織	90	90	95

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	2,270	0	1,035	0	0	1,235	
04年度 実績	2,470	0	1,235	0	0	1,235	
05年度 当初	3,245	0	1,560	0	0	1,685	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
自主防災組織の新規結成はなく、維持・横ばいです。
<原因>
コロナ禍の影響により、区会、自治会での会議が開催できず、組織の新規結成に向けた動きが出来なかったことが原因と考えられます。各自自主防災組織が実施する訓練は、災害時における自助・共助の意識の向上が見られ昨年度より増加しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	90	90	72
各地区防災訓練実施率	%	53.8	69.2	70
避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合	%	85.9	78.4	75

事務事業名 防災訓練実施事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			1588

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・職員・防災関係機関等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における「自助」、「共助」の重要性が周知され、市民の防災意識が醸成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を得て、日頃から住民や関係機関が地震等の脅威を十分認識するほか、地域防災力を充実させるため、自主防災組織を中心とした訓練を毎年度地域を定めて実施します。また、市民防災意識の向上を目的として一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
防災訓練実施回数	回	3	2	2
成果状況				
防災訓練参加者数	人	4,386	4,310	3,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	92	0	0	0	0	92	
04年度 実績	556	0	0	0	0	556	
05年度 当初	1,130	0	0	0	0	1,130	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度は例年実施しているシェイクアウト訓練の他、津波浸水エリアを対象に津波避難訓練を実施し、順調です。

<原因>
警察や消防などの関係機関協力のもと、ハザードマップの津波浸水エリアを対象に防災訓練の参加を募り、訓練を実施したことで、市民の災害に対する備えや行動など防災意識が向上したものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	項目	5.17	5.1	4.25

事務事業名 宅地耐震化推進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上	
計画年度	令和 03 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2137

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大規模盛土造成地（33箇所）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

大規模地震の際に、地滑りによる崖崩れや土砂災害の発生の恐れが大きい大規模盛土造成地の災害対策として、基礎資料の整理や現地踏査等を行い、その結果、現地調査等が必要な場所についてはボーリングなどの地盤調査を実施します。

事務事業の内容、やり方、手順

⑦第二次スクリーニング計画の作成

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
現地調査箇所数	箇所	33	3	2
成果状況				
事業実施に対する進捗率	%	70	80	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,817	1,908	0	0	0	1,909	
04年度 実績	3,165	1,485	0	0	0	1,680	
05年度 当初	20,603	6,500	0	0	0	14,103	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
簡易地盤調査を実施し、第二次スクリーニングの優先順位が確定したため、第二次スクリーニング計画の作成は完了しました。
<原因>
事前に調査箇所の地元調整を行い、当初のスケジュールどおり事務を進め、調査を実施したためだと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	項目	5.17	5.1	4.25

事務事業名 消防ポンプ車等整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	04	基本事業名	消防力の充実	
計画年度	年度～年度			事務事業整理番号 4

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防ポンプ車等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

車両更新により消防力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

更新期間の目安を23年としていることから、車両状態に応じて順次更新整備を行います。

年度別更新計画

ポンプ車、小型ポンプ付積載車

R3年度 1台、

R4年度 1台

R5年度 1台、 1台

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

使用年限到来による更新台数

単位

03年度

04年度

05年度

台

1

0

2

成果状況

使用年数23年以上経過した台数

台

1

3

2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	24,265	0	1,807	11,200	8,443	2,815	
04年度 実績							
05年度 当初	50,928	0	0	41,000	0	9,928	(18,046)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり

②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞

新規登録から23年が経過する消防車両の更新を行う事ができませんでした。

＜原因＞

消防車のシャシーメーカーにおいて、排出ガスの検査について不正があり、車両の供給が一時停止されたことで、納期を延長しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
消防団の火災出動率	%	70.9	62.1	70
消防団員の充足率	%	88.1	86.9	96
常備消防職員の充足率	%	98.2	98.2	100

事務事業名 消防団運営事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	04	基本事業名	消防力の充実	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 9

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防団
消防団員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消防力を高めることにより、市民の生命、身体、財産を災害から守り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

消防団員の各種訓練等を行います。
4月～3月 役員会議
5月 初任者、部長訓練
7月 千葉県消防操法大会
12月 出初式に係る訓練、歳末夜警
1月 出初式予行
出初式
3月 消防大会

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
火災出動人員数（当該年度）	人	1,440	1,443	1,440
火災出動車両数（当該年度）	台	265	285	265
成果状況				
火災1件当りの出動人員（当該年度）	人	36.9	29.5	36.9
火災1件当りの出動台数（当該年度）	台	6.8	5.8	6.8

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	33,487	0	81	0	0	33,406	
04年度 実績	36,388	0	0	0	0	36,388	
05年度 当初	51,519	0	0	0	0	51,519	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
火災1件当りの出動人員、火災1件当りの出動台数はともに低下しました。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症の関係で、在宅の多かった消防団員が、社会活動の活発化により不在となる事が多くなったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
消防団の火災出動率	%	70.9	62.1	70
消防団員の充足率	%	88.1	86.9	96
常備消防職員の充足率	%	98.2	98.2	100

事務事業名 地域防災計画改定事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1608

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、防災関係機関、市職員等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時において迅速かつ確な対応が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

東日本大震災や令和元年の風水害の教訓を活かした地域防災計画に改定します。
<業務委託>
【1年目】
・コンサルタント選定
・資料収集及び改定課題、方針検討を行います。
【2年目】
・コンサルタントとの打合せ、内容調整
・防災会議の開催（書面）
・パブリックコメントの実施
・成果：山武市地域防災計画 200部、概要版 500部

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
コンサル打合せ日数	日	2	3	-
防災会議開催数	回	0	1	-
成果状況				
年度別スケジュールの進捗率	%	20	100	-

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	2,270	0	0	0	0	2,270	
04年度 実績	5,298	0	0	0	0	5,298	
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
山武市地域防災計画の改定について、コンサルタントとの打ち合わせを実施し内容を調整しました。コロナ禍であったため、防災会議は書面開催としました。パブリックコメントを経て改定版を策定しました。
<原因>
コンサルタントとの打ち合わせを実施し、防災関連法令の改正や上位計画の修正等との整合を図り、本市の防災体制及び災害対策をより実効性の高いものとするべく計画を修正しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値

事務事業名 不法投棄パトロール事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	01	施策名	生活環境の充実	
基本事業番号	02	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 586

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公有地（道路等）の不法投棄を早期に回収することで、市内の環境美化が維持されます。

事務事業の内容、やり方、手順

廃棄物の不法投棄を未然に防ぎ、不法投棄される恐れがある地域等のパトロールを実施し、道路、水路における公共用地に不法投棄された廃棄物を回収します。1日2名×3組体制

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
連絡調整会議	回	2	2	2
不法投棄パトロール日数	日	242	243	243
成果状況				
収集したごみ量（袋数）	袋	5,532	5,595	5,595

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	10,860	0	0	0	0	10,860	
04年度 実績	10,972	0	0	0	0	10,972	
05年度 当初	11,090	0	0	0	3,696	7,394	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
収集したごみ量（袋数）は、前年度と比較して63枚増加しました。

＜原因＞
新型コロナウイルス感染症防止対策の緩和で、前年度より観光客等が増加したことがポイ捨てごみが増加した原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	7	18	4
一般廃棄物等不法投棄件数	件	89	115	87
ごみゼロ運動参加者数	人	0	8,610	10,000

事務事業名 航空機騒音障害防止対策費交付事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	01	施策名	生活環境の充実	
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策	
計画年度	昭和 53 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 121

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・旧松尾町及び旧蓮沼村の全区 ・旧成東町の木戸岡、木戸浜及び原横地区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

成田国際空港の航空機の騒音による障害の緩和を図るため、地区が行う騒音対策事業に充てる経費を交付します。 交付金対象事業 1. 地区集会施設の整備及び維持管理 2. 生活環境関連施設の整備又は改善若しくは保全 3. 航空機災害に備える消防施設の整備等及び自主防災組織の育成 4. 地域振興に寄与すると認められる施設の整備 5. スポーツ又はレクリエーション活動若しくは関連施設の整備 6. コミュニティ育成活動 7. その他市長が特に必要と認める事業
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
交付金申請区数	区	59	59	59
成果状況				
交付金交付区数	区	59	59	59

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	45,750	0	0	0	34,312	11,438	
04年度 実績	44,624	0	0	0	41,834	2,790	
05年度 当初	44,624	0	0	0	0	44,624	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和4年度の交付金交付区数は、59区で横ばいです。 <原因> 交付対象区数に増減が無かったためです。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	78.5	77.5	80

事務事業名 航空機騒音対策空調機器設置事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	01	施策名	生活環境の充実	
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1766

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

住民基本台帳に登録されている松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部の住民（航空機騒音の影響を受ける地域）
ただし、成田国際空港（株）及び（財）成田空港周辺地域共生財団による民家防音工事対象住宅を除く

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

航空機騒音が軽減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により騒防法第1種区域及び公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域を除いた航空機騒音の影響を受ける地域（松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部）の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を設置する工事を実施した者に補助金を交付します。
（平成28年度以前に実施した事業を平成31年度から対象等を変更して実施）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
補助金額	千円	28,991	23,542	36,000

成果状況				
空調機器補助台数（単年度）	台	366	295	450

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	29,191	0	0	0	24,000	5,191	
04年度 実績	23,514	0	0	0	23,514	0	
05年度 当初	36,051	0	0	0	2,250	33,801	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度の補助台数は295台で、前年度と比べ71台減少しました。
<原因>
事業開始から4年が経過し、申請数が減少しているためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	78.5	77.5	80

事務事業名 地球温暖化防止対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	01	基本事業名	自然環境保全活動の推進
計画年度	年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			597

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化その他地球温暖化の防止を図るための取り組みが行われています。

事務事業の内容、やり方、手順

市役所庁舎等の窓側にゴーヤ等のつる科の植物を植え緑のカーテンの設置を行います。
2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。取り組みを推進する中でパンフレット等を作成し市民へ幅広く周知します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
緑のカーテンの面積	m ²	630	654	654
広報で啓蒙する	回	10	9	12
成果状況				
環境にやさしい生活様式平均実践項目数	個	5.26	5.14	5.26
省エネへの生活様式平均実践項目数			2.85	3.01

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	300	0	0	0	0	300	
04年度 実績	9,778	7,260	0	0	0	2,518	
05年度 当初	4,756	0	0	0	0	4,756	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
環境にやさしい生活様式平均実践項目数は、前年度と比較して0.12項目減少しました。
＜原因＞
まちづくりアンケート結果から、商品の購入時に再生品、エコマーク商品及びリユース品を進んで選択する割合が低いことが原因であると思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
自然環境保全活動に参加している団体数	団体	31	30	29

事務事業名 浄化槽設置支援事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	03	施策名	自然環境の保全	
基本事業番号	05	基本事業名	汚水処理の推進	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 598

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（単独処理浄化槽、くみ取り槽から合併処理浄化槽に転換する者。）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未処理の生活排水が排出されなくなります。

事務事業の内容、やり方、手順

単独処理浄化槽、くみ取り槽から合併処理浄化槽に転換する場合に補助を行い、合併処理浄化槽の設置を促進します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
1 年間の浄化槽補助金申請件数	件	58	54	70
成果状況				
単独浄化槽設置基数	基	4,042	4,037	3,973
し尿処理世帯戸数	戸	1,996	1,985	1,979

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	47,873	20,506	14,964	0	12,403	0	
04年度 実績	44,285	19,414	13,510	0	11,361	0	
05年度 当初	58,448	26,774	17,364	0	14,310	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して単独処理浄化槽設置基数が5件減少し、し尿処理世帯戸数が11件減少しています。

＜原因＞
未処理の生活排水を排出していた世帯の汚水処理意識が向上したことにより、合併処理浄化槽への転換が進んだことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
BOD濃度作田川（中流域）	mg/l	1.8	1.4	2
BOD濃度木戸川（中流域）	mg/l	1.6	1	2
汚水処理世帯の普及率	%	49	49.3	44

事務事業名 防犯灯維持管理事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 189

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・既設防犯灯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

防犯灯が適切に管理されていることにより、夜間における危険箇所が解消され、市民の安全が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・市内における夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するため、道路及びその周辺の既設防犯灯の管理を行った他、区からの要望に応じて防犯灯を新設しました。
- ・既設防犯灯の修繕等の工事費及び電気料金を支払いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
管理基数	基	8,116	8,118	8,118
成果状況				
苦情件数	件	0	1	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	20,482	0	0	0	1,566	18,916	
04年度 実績	24,336	0	0	0	413	23,923	
05年度 当初	27,436	0	0	0	0	27,436	

※繰越額は、当該年度の事業費のほか、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
防犯灯の維持管理に関する苦情件数は、前年度と比較して1件増加となっています。

＜原因＞
防犯灯の新設について、設置基準に照らし検討した結果、要望に応えられなかったことが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	100	100	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	39	40	40

事務事業名 消費生活相談事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	04	基本事業名	消費者トラブルの防止
計画年度	年度 ～ 年度		事務事業整理番号 533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差が軽減され、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

消費生活センターの運営
開設日 月～金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日を除く）
開設時間 午前9時～正午まで及び午後1時～午後4時30分まで
業務
・消費生活相談員による事業者に対する消費者からの苦情に係る相談及び処理のためのあっせん
・消費生活における安全性の確保のために必要な情報の収集及び提供

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
消費生活センターへの問合せ件数	回	2,115	2,215	2,100
啓発物の配布枚数	枚	24,800	10,500	25,000
成果状況				
消費者相談件数（山武市受付分）	件	397	412	400
消費者相談件数	件	544	606	550

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	2,563	455	1,565	0	161	382	
04年度 実績	1,650	0	1,071	0	175	404	
05年度 当初	1,934	0	1,069	0	140	725	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
相談件数は、令和3年度より15件増加しました。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化により、消費活動が抑制され訪問販売等の接触型の消費トラブルは減少したが、非接触型のインターネット通販に係る相談等が増加したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
消費者相談件数	件	544	606	455
消費者トラブルにあった市民の割合	%	5.1	3.8	3.3

事務事業名 経営所得安定対策推進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1602

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市農業再生協議会
農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業経営の安定化が図られています。
産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物（水稻）を対象に、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、主食用米から新規需要米への作付転換を支援します。
市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
生産調整面積	h a	912	1,172	900
成果状況				
生産調整実績	h a	731	822	700
事業加入者数	人	230	261	230

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	114,438	0	22,278	0	0	92,160	
04年度 実績	116,678	0	20,653	0	0	96,025	
05年度 当初	124,729	0	21,640	0	0	103,089	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して、生産調整実績は91ha、事業加入者数は31人増加しています。
＜原因＞
飼料用米への作付転換が増加したことによるものです。人口減少等による需要減によって主食用米の需要の減少が見込まれるため、米価の下落が懸念されます。引き続き新規加入者並びに生産調整面積を増やしていく必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
耕作面積	h a	2,905	2,901	2,902.8
家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	件	0	0	0

事務事業名 認定農業者育成事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 447

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内認定農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進むことで、農業経営が改善されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械の購入（貨物自動車を除く。）及び農業用施設の整備に要する経費の10%以内を限度額200,000円（スマート農業関連機械及び施設については、経費の20%以内を限度額500,000円）として、同一年度内に一度限り助成します。
なお、交付を受けた翌年度については、事業申請できません。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
事業要望件数	件	42	36	33
補助金交付件数	件	41	35	33
成果状況				
交付額	円	8,592,000	8,142,000	9,000,000
認定農業者増加件数	人	-5	2	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	8,592	0	0	0	0	8,592	
04年度 実績	8,142	0	0	0	0	8,142	
05年度 当初	9,000	0	0	0	0	9,000	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和3年度と比較して、補助金交付額は450千円減少し、認定農業者数は2人増加しています。
＜原因＞
補助金交付額の減少は、交付件数が6件減少したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
認定農業者数	人	364	366	389
青年等就農計画認定者数	人	14	17	20

事務事業名 地域農業経営支援事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1667

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新規就農者や農業後継者を支援することで、地域農業の担い手が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

人・農地プランを策定することにより以下の助成を受けることができます。
農業次世代人材投資資金、経営開始資金（原則50歳未満で、独立自営就農する方）150万円/年支給（夫婦認定225万）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
マスタープラン作成地区数	箇所	13	13	13
成果状況				
青年就農給付金支給者数	人	10	10	11
	a			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	14,892	0	14,352	0	0	540	
04年度 実績	16,327	0	16,027	0	0	300	
05年度 当初	55,342	0	46,525	0	1,000	7,817	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年度と比較して、農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）、経営開始資金支給者数は同数です。
<原因>
給付金支給者1人が資金支給期間の終了により減となりましたが、新規で1人の申請があったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
認定農業者数	人	364	366	389
青年等就農計画認定者数	人	14	17	20

事務事業名 農業水路等長寿命化・防災減災事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1996

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業水利施設の整備、更新等により生産基盤が整備されています。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化した農業水路等の農業水利施設の整備、更新等を地域の実情に応じて実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
整備更新等に係る事業数	件	1	3	3
成果状況				
事業実施済地区数	地区	1	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,536	0	0	0	0	3,536	108,199
04年度 実績	8,140	0	5,617	1,500	0	1,023	33,107
05年度 当初	136,000	0	84,813	24,300	0	26,887	(25,850)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
水路幅員が確保できたので、水路整備工事を発注し完成しました。
<原因>
地権者が仮設道路用地を提供することにより、支障なく工事が完成しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	5	5	5

事務事業名 ほ場整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1997

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

担い手へ農地が集積・集約化され、耕作放棄の発生が防止されています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地を集積・集約化を加速するため、受益対象農地について、区画整理、農用地造成等の基盤整備事業を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
事業実施予定地区数	地区	3	3	3
成果状況				
事業採択申請件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	23,115	0	12,000	0	0	11,115	
04年度 実績	18,574	0	4,998	0	0	13,576	
05年度 当初	27,148	0	8,000	12,000	0	7,148	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
3地区に土地改良事業推進員が設立され事業採択に向けて進捗しています。

<原因>
推進員が地権者に対して事業の説明をしています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	5	5	5

事務事業名 災害に強い森づくり事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2073

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内森林

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

重要インフラ施設に隣接する森林が整備され適正に管理されます。

事務事業の内容、やり方、手順

重要インフラ（道路・鉄道・送配電）の施設に隣接し、林地からの風倒木や土砂流出等が当該施設に被害を及ぼす懸念を有する森林において、森林所有者及び重要インフラ施設管理者との協定に基づき伐採、更新伐等を行う事業体に対して事業費を補助します。

補助率 県:4/10以内 市2/10以内

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
補助金額	千円	54,115	19,356	40,121

成果状況				
災害に強い森づくり事業で整備された森林面積	ha	5.78	0.39	18.03
災害に強い森づくり事業で運搬された被害材の量	立米	4,750	320	1,150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							54,116
04年度 実績							19,355
05年度 当初	6,593	0	4,400	0	0	2,193	(8,884)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
整備された森林面積は0.39ha、運搬された被害材の量は320立方メートルとなり、整備面積5.39ha搬出量4,430立方メートルの減少となりました。
＜原因＞
令和4年度は、伐採等の整備面積等が減少しましたが、重点的に以前に整備した森林に植栽（10.62ha）を実施したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	20	24	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	6,032.3	4,632.3	1,400

事務事業名 自治体連携森林整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	令和 04 年度 ～ 令和 08 年度			事務事業整理番号 2202

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内森林、山武市民、他自治体市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

他自治体と連携して山武市内の森林整備及び木材利用を実施し、森林の保全及び地球温暖化対策を推進し、相互の交流の促進を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

森林を持たない市町村が森林環境譲与税を有効活用するため、協定を締結し、森林整備実施や市産材木材製品の提供を行いました。

浦安市と協定締結

- ・森林整備、木材活用に係る計画書作成
- ・林業事業者への補助金交付事業として実施
- ・二酸化炭素吸収量の算出（計算式による）
- ・木材製品の提供

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
補助金額			5,000	5,000
成果状況				
自治体連携森林整備事業で整備された森林面積			3.55	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	5,000	0	0	0	5,000	0	
05年度 当初	5,000	0	0	0	5,000	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
浦安市との協定により、3.55haのスギ・ヒノキの間伐を実施しました。また、サンブスギ折り紙1,500セットを提供しました。

<原因>
令和4年度から、浦安市との協定により市内森林の整備、市内産木材を利用した木材製品の提供を開始しました。今後は、森林整備、木材製品提供のほか、両市民交流など実施します。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	20	24	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	6,032.3	4,632.3	1,400

事務事業名 農業委員会運営事業

農業委員会事務局 農業委員会事務局

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業委員 農地利用最適化推進委員 農地 農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農地が適正に利用されます。
農業経営が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

農地法による権利移転や転用、農業経営基盤強化法による利用権設定等を希望する農業者に対し、申請に係る指導を行い、適切な農地利用を図りました。
提出のあった農地法許可議案等は、毎月開催される総会において審議し、承認された案件については、その後速やかに許可や県への進達を行いました。
その他の事業については以下のとおり実施しました。
・農家基本台帳の整備
・農地法に基づく農地の利用状況について調査
・農業委員・農地利用最適化推進委員の研修
・農業委員の視察研修開催
・法務局や裁判所等からの地目変更照会に対する調査回答

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
審議議案数	件	419	358	500
現地調査件数	件	514	435	550
成果状況				
農地申請不許可率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	19,936	0	2,281	0	0	17,655	
04年度 実績	22,214	0	4,842	0	0	17,372	
05年度 当初	20,429	0	2,052	0	0	18,377	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会運営が円滑に行われ、農地の適正利用が図られました。
＜原因＞
農地法等の法令について、農業委員及び農地利用最適化推進委員と事務局が連携し、また、現地確認等を迅速に実施していることが円滑な運営につながりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値

事務事業名 地域応援クーポン券事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化	
基本事業番号	01	基本事業名	市内消費の向上	
計画年度	令和 03 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2200

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 市内事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

物価高騰の影響を受けている市内事業者及び市民の支援策として、お買物割引券を配布、市内消費の喚起及び地域経済活性化を図る。
--

事務事業の内容、やり方、手順

新型コロナウイルス感染症の影響で低迷した消費を喚起し、市内の事業者を支援するため、山武市商工会が行う地域応援クーポン券の発行事業に要する経費の一部について、予算の範囲内において補助金を交付する。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
クーポン券発行数	枚		492,686	138,000
成果状況				
クーポン券使用率	%		92.46	92

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	103,552	103,552	0	0	0	0	154,328
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和4年度中にお買物割引券配布を2回実施、総発行枚数は、492,686枚で、使用率は92.46%でした。 <原因> お買物割引券の使用期間を1回目は6か月、2回目は3か月とし、年末まで使用期限を設けたことにより、使用率が90%を超過したものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%	67.5	65.9	72

事務事業名 エコノミックガーデニング推進事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化	
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1802

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中小企業、小規模事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地元企業が成長し、雇用が確保されるとともに経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんむエコノミックガーデニング推進協議会を中心にエコノミックガーデニング事業を推進します。企業ヒアリングによりエコノミックガーデニング事業の推進を図ります。

事業内容

- ・さんむエコノミックガーデニング推進協議会の運営
- ・エコノミックガーデニング事業の企画、展開
- ・商圏分析などデータ構築、提供
- ・域内企業マッチング

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
活動事業数	事業	9	9	15
成果状況				
参加事業所数	所	75	81	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,952	0	0	0	976	976	
04年度 実績	1,438	0	0	0	983	455	
05年度 当初	3,628	0	0	0	1,700	1,928	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
協議会への参加事業所数は、令和3年度より6事業所増加しており順調です。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症の影響により、6事業が休止となり、活動が縮小されましたが、9事業はコロナ禍での対応を工夫し活動できたことが、参加事業所の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	43.5	42.6	60.3
新規法人登録件数	件	147	175	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	177	205	214

事務事業名 企業誘致促進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化	
基本事業番号	03	基本事業名	企業立地と企業定着による雇用の推進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2077

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

企業

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内に新たな企業が立地することにより、地域経済の活性化及び雇用の場の拡大が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

企業の立地に向けて、次の業務を実施します。
◆企業立地に係る情報収集
・千葉県や金融機関等との意見交換
◆企業誘致に係る支援制度の周知PR
・市ホームページ、チラシ、イベントフェアへの参加等
◆企業との相談受付
・企業訪問、企業からの引き合い等から誘致に向けた交渉
◆新たな産業用地の検討
◆山武市企業立地促進条例（令和2年4月1日施行）に基づく各種奨励金の交付により、立地企業への財政的な支援を実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
企業誘致支援制度の周知PR回数		2	2	5
企業との相談回数		4	12	10
成果状況				
企業等からの照会件数		3	8	4
企業立地・拡張件数		2	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1	0	0	0	0	1	
04年度 実績	134	0	0	0	0	134	
05年度 当初	13,522	0	0	13,300	0	222	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
企業等からの照会件数が昨年度と比較して5件、166.7%増加しているほか、企業立地支援制度の対象となる事業所の拡張が申請されており、令和5年度操業開始の予定です。
<原因>
山武市企業立地促進条例に基づく各種奨励金等の施策が、各種PR活動により認知されてきたことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市内事業所数	社	1,669	-	1,772
市内従業者数	人	15,458	-	15,332

事務事業名 海水浴場維持管理安全対策事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 553

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・観光客
- ・海水浴場施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海水浴客の安全が確保されます。また、施設の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

来遊する海水浴客の安全対策、海水浴場開設期間の駐車場の管理業務、海水浴場の施設管理業務を実施予定です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
委託業務数	件	5	7	6
海水浴場開設日数	日	0	37	37
成果状況				
水難事故件数	件	0	0	0
苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	44,532	0	0	0	0	44,532	
04年度 実績	48,174	0	0	0	4,558	43,616	
05年度 当初	62,359	0	0	0	5,000	57,359	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
水難事故件数、苦情件数ともに0件であり、順調です。
＜原因＞
海水浴場監視業務と海岸パトロール及び海水浴場施設の維持管理等が適正に行われたため、安心安全な海水浴場の環境が保たれました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	-	47,370	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	1	2	0

事務事業名 美しい海水浴場次世代継承事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2013

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・本須賀海水浴場 ・観光客 ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ブルーフラッグ取得によるイメージアップにより、観光客が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

本須賀海水浴場において、国際環境認証ブルーフラッグの更新取得を目指します。美しいビーチを次世代に継承していくために、環境保全活動に積極的に取り組みます。 ・海岸環境保全教育 ・ビーチクリーン活動及び支援 ・水質検査（開設前1回・開設期間中5回） ・安全リスク評価（3年に1回・次回は2024年度） ・ブルーフラッグ認証取得申請（毎年更新）
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
海岸環境教育活動回数	回	9	23	12

成果状況				
海岸環境教育活動参加者数	人	515	1,110	300
本須賀海水浴場入込数	人	0	33,294	46,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	4,938	0	0	0	4,938	0	
04年度 実績	3,870	0	0	0	3,713	157	
05年度 当初	4,787	0	0	0	4,717	70	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 海岸環境教育活動参加者は1,110人で、前年度と比較して595人増加しています。 ＜原因＞ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響減少に伴い、ブルーフラッグ環境教育セミナーやビーチクリーン事業が実施されています。特に一般のボランティア団体や学生によるビーチクリーン事業の実施回数が12回増加したため、参加者数が大幅に伸びています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	-	47,370	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	1	2	0

事務事業名 観光PR事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	03	基本事業名	観光情報の発信	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各種PRを通じて多くの方に魅力を伝えています。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の誘致促進のため観光PRイベントへの参加及びマスコットキャラクターの活用を行います。 ・広報宣伝活動・・・マスメディア・各旅行会社等 （風評被害の払拭・イメージアップ等を含む） ・プロモーション活動・・・各種イベント活動事業 ・情報配信媒体・・・PRポスター・販促用グッズ等 N A A、横芝光町、芝山町と広域連携してサイクルツーリズムによる観光事業を推進します。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
チラシの配布数	枚	5,000	10,000	25,500
成果状況				
ポスター掲示数	箇所	700	700	700

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,831	0	0	0	1,305	2,526	
04年度 実績	4,569	0	0	0	4,569	0	
05年度 当初	5,336	0	0	0	1,600	3,736	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ ポスター掲示数は700箇所であり、前年度と同様となっています。 ＜原因＞ 公共施設や観光施設等に観光PR用ポスターやブルーフラッグ取得ポスター、イベント告知ポスター、モンベルサイクルツーリズムPRポスター等を掲示しています。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
観光案内所利用件数	件	7,018	9,729	6,800
観光協会HP等の閲覧数	人	96,020	112,371	7,200

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実	
基本事業番号	03	基本事業名	安全・安心な生活への仕組みづくり	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 357

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

①65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方
②身体障害者1級または2級に該当する65歳未満の方のみで構成される世帯に属する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

急病等の緊急時に適切な対応が行われ、日常生活上の不安が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

高齢者世帯等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の不安を解消し、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ります。併せて、申請により救急医療情報キットの配布を行います。
<事務手順>
①緊急通報装置貸与申請書を市に提出します。（救急医療情報キットについては、以下の手順は無し）
②市が要件を審査し申請者に可否決定通知を郵送します。
③市と委託契約した事業者が日程調整のうえ装置を設置します。
④貸与は無償で、装置に係る費用は市が負担します。
⑤月に一度、委託先事業者が安否確認の連絡をします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	51	55	36
お元気コール実施回数	回	4,444	4,392	5,040
成果状況				
緊急通報連絡により対応した件数	件	244	218	250
緊急通報装置の設置数	台	373	365	420

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	5,926	0	0	0	0	5,926	
04年度 実績	6,047	0	0	0	0	6,047	
05年度 当初	5,110	0	0	0	0	5,110	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
緊急通報連絡により対応した件数、緊急通報装置の設置数のいずれも横ばいです。
<原因>
緊急通報装置の設置台数については、主に包括支援センターや民生委員による情報提供から新規設置となる台数と、施設入所や死亡により撤去となる台数が均衡しているためと考えられます。また、これに伴い、実際に行われた緊急通報連絡も同程度の件数となったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
相談先がある高齢者の割合	%	78.1	73.3	78.4

事務事業名 障害者自立支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実	
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進	
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1063

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害者総合支援法に基づく障害（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）を持っている市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障がいのある人が自立を図るため、障害福祉サービスが受けられます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害の手帳や難病の受給者証を所持している方を対象に、障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付等）を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

- ①窓口にて申請
- ②心身の状況の調査
- ③医師の意見書の取り寄せ
- ④審査会にて障害支援区分の判定
- ⑤サービス等利用計画の作成、提出
- ⑥支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
介護給付費・訓練等給付費の支給を行った人数	人	542	540	550
成果状況				
障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合	%	21.9	22.2	22

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,140,713	566,099	283,341	0	0	291,273	
04年度 実績	1,212,213	596,427	297,911	0	0	317,875	
05年度 当初	1,280,849	639,153	319,576	0	0	322,120	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度の障がい者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合は22.2%となっており、前年度と比較して0.3ポイント増加しています。
<原因>
利用者のニーズに合わせた支給決定に努めているからです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
自立支援給付サービスの利用者数	人	735	747	540

事務事業名 障害児通所等支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実	
基本事業番号	04	基本事業名	児童発達支援の充実	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1995

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童福祉法に規定する障害児及び精神障害者のうち18歳未満の者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障害のある児童の生活能力の向上と自立が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害手帳を所持している児童や、発達が気になる児童に対して、障害児通所支援を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

- ①窓口にて申請
- ②手帳のコピーか意見書を提出
- ③サービス等利用計画の作成、提出
- ④支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
通所受給者証を交付した就学前の児童数	人	66	57	57
通所受給者証を交付した就学後の児童数	人	127	147	147
成果状況				
通所支援を利用した就学前の児童の割合	%	95	89	89
通所支援を利用した就学後の児童の割合	%	94	96	96

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	180,780	90,373	45,186	0	0	45,221	
04年度 実績	207,522	100,671	50,284	0	0	56,567	
05年度 当初	202,717	101,358	50,679	0	0	50,680	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
通所支援を利用した就学前の児童の割合は89%、通所支援を利用した就学後の児童の割合は96%です。通所支援を利用した就学前の児童の利用率は6%減少、就学後の児童の利用率は昨年度と比較し、2%増加しています。
＜原因＞
どちらも利用率は90%前後となっており、サービスの支給決定を受けた児童が適切に通所支援を利用している為です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
就学前の障がい児通所支援の利用者数	人	66	58	56
切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数	回	8	11	8

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2153

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

厚生労働大臣が新型コロナワクチン接種対象者に指定した市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症の予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図るものです。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・都道府県による全国知事会との集合契約に参加
- ・ワクチン及び超低温冷凍庫は、国で買い上げ、分配
- ・国で指定する対象者に対し、無料接種券を送付
- ・原則居住市町村内で接種。医療従事者等やむを得ない場合は、施設等で接種を実施し、集合契約により国民健康保険連合会経由で接種費用を支払う
- ・市民への相談窓口として、コールセンターを設置
- ・予防接種による健康被害への救済給付
- ・接種体制確保事業は、国庫補助金。接種費用は、国庫負担金を財源とする

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
接種券配付数	人	46,151	45,865	41,988
成果状況				
予防接種を受けた対象者の割合	%	88.3	78	55

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	338,546	334,757	0	0	0	3,789	88,770
04年度 実績	92,168	92,168	0	0	0	0	206,798
05年度 当初							(123,414)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年度の初回接種と比較すると令和4年度3回目接種については、10.3ポイント減少しました。
<原因>
対象者のうち、主に18歳～59歳の接種率が1回目接種から20.1ポイント減少していることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	3.92	3.75	3.8

事務事業名 小児予防接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1371

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・山武市に居住する生後2か月から7歳6か月未満児の定期予防接種対象者に予防接種を実施します。
- ・山武市に居住する小中学校の児童生徒の定期予防接種対象者に予防接種を実施します。
- ・妊婦と生後6か月～小学生にインフルエンザ予防接種費用

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

予防接種率を維持・向上させることにより、市での感染症の発生を未然に防止できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・乳幼児の予防接種【ワクチン】B型肝炎、H i b、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG 日本脳炎、麻しん風しん混合、水痘、不活化ポリオ、ロタ【周知方法】出生届時に予診票配布し、ホームページ、保健事業案内や母子モなどで対象年齢、接種方法などを周知。【実施場所】契約医療機関に委託。
- ・児童生徒の予防接種【ワクチン】日本脳炎2期、二種混合、HPV（子宮頸がん予防）周知方法】保健事業案内及び個別通知、学校等を通じて周知するとともに予診票を配付。【実施場所】契約医療機関に委託。※妊婦と生後6か月～小学生にインフルエンザ予防接種費用一部助成。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
定期予防接種者数（麻しん・風しん混合Ⅰ期、Ⅱ期）	人	464	431	430
定期予防接種者数（児童生徒：二種混合、日本脳炎Ⅱ期）	人	352	567	500
成果状況				
接種を受けた児の割合	%	93	93.3	90
接種を受けた児童生徒の割合	%	55.3	90.3	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	52,953	0	0	0	0	52,953	
04年度 実績	60,318	0	0	0	0	60,318	
05年度 当初	74,309	0	0	0	0	74,309	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度に予防接種を受けた乳幼児の割合は、前年度より0.3ポイント増加し、児童生徒の割合は35ポイント増加しており、順調です。

<原因>
乳幼児の予防接種は、出生届出時の説明のほか、未接種者へは他の母子保健事業や電話での勧奨を行いました。児童生徒の予防接種は、日本脳炎ワクチン不足が解消されたことで接種率が大幅に向上したことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	94.9	95.5	95
乳幼児健診の満足度	%	96.4	93.7	94
幼児（3歳）のむし歯保有者率	%	16.5	12.6	16

事務事業名 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 22 年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			1290

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんむ医療センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

病院事業が健全に運営され、安定した医療が提供されています。

事務事業の内容、やり方、手順

内容：さんむ医療センターへの繰出金の処理、長期貸付金にかかる病院企業債の借入れ事務等
やり方：繰出し基準により金額を算出し、予算を確保します。病院企業債の借入れについては、県に申請し、借入れ同意を得ます。
手順：【繰出し関係】 予算要求→予算の承認→さんむ医療センターからの請求→支出伝票の起票→決裁→会計課へ伝票の送付→支出
【借入れ関係】さんむ医療センターから市へ長期借入れの申請→市は県へ借入れの申請→ヒアリング→同意→借入れ手続き→入金→さんむ医療センターへ貸付け→さんむ医療センターは借用証書を提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

さんむ医療センターとの病院運営に関する会議回数（定例会及び必要に応じ開催した会議回数）

単位	03年度	04年度	05年度
回	18	11	20

成果状況

評価委員会による年度計画評価で、計画を下回る小項目数（C及びD）

項目	2	2	0
----	---	---	---

さんむ医療センターへの繰出金

千円	419,984	330,511	332,049
----	---------	---------	---------

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	419,984	0	0	0	0	419,984	
04年度 実績	330,511	0	0	0	0	330,511	
05年度 当初	350,774	0	0	0	0	350,774	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
さんむ医療センターへの繰出金は前年度より89,473千円減少しました。
<原因>
繰出し基準に基づく基礎年金拠出金に要する経費負担が発生しなかったことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	65.3	61.3	57

事務事業名 ちびっこ国際交流事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1875

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼児等（児童）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

幼児等が外国語にふれあうことで、国際的な文化や歴史への関心が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

こども園等に通う幼児等が外国人の生の外国語に触れる機会を提供することで遊びを通して外国語を学び、その国の文化・歴史に興味を持つ事業を展開します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
外国語指導員数	人	1	1	1
成果状況				
保護者のこども園等に対する満足度	%	95	86.2	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	4,620	0	0	0	0	4,620	
04年度 実績	5,024	0	0	0	0	5,024	
05年度 当初	4,620	0	0	0	2,310	2,310	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
英語活動に興味・関心を持つ児童が増えている一方で、授業の回数が今より増えると尚良いという意見があり、満足度の減少の原因と考えられます。

＜原因＞
現状、長期休業期間を除き、各園交代で毎日授業を行っていただいております。今後は保護者の要望に適した対応を考えていく必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	82.9	80.2	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	96	95.1	97

事務事業名 こども園施設整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1878

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

こども園（5園）施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

園児が安心できる環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

建物（設備や遊具）の故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修を行う。
また、軽微な施設整備を行う。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
修繕及び工事件数	件	15	13	5
修繕及び工事費	千円	19,708	9,890	15,000
成果状況				
園児一人あたりの経費	円	31,382	16,734	24,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	27,531	0	0	0	20,436	7,095	
04年度 実績	17,552	0	0	0	1,976	15,576	
05年度 当初	101,637	0	0	84,600	4,756	12,281	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
前年度に比べ、園児一人あたりの経費が、14,648円減額しました。
<原因>
まつおこども園などでフェンス設置工事等を実施したことにより、園児が安全に過ごすことが出来ています。園要望の実施箇所を工事したことにより、安心した環境づくりにも反映されました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	82.9	80.2	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	96	95.1	97

事務事業名 子育て世代包括支援センター等事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	02	基本事業名	子育て不安の軽減	
計画年度	令和 03 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2147

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<子育て世代包括支援センター事業>
市内の妊産婦及び母子（未就学児）
<乳児全戸訪問事業>
生後4か月までの乳児のいる家庭（里帰りを含む）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

育児の孤立化を防ぐため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を行うことで、育児不安が軽減され、安心して出産、育児に望めます。

事務事業の内容、やり方、手順

<子育て世代包括支援センター事業>
開催場所：成東保健福祉センター
事業内容：母子保健型。専任と兼任の看護職が、母子保健に関する相談支援を実施します。妊娠届出者の全数面接、支援プランの作成をします。出生後も支援プランの作成や見直し、必要時、要保護児童対策協議会と連携し支援します。
<乳児全戸訪問事業>
事業内容：乳児のいる全家庭を助産師、保健師が訪問し、相談助言等の援助を行います。
<出産子育て応援給付金>
事業内容：妊娠届出面接後・赤ちゃん訪問後に申請書類を提出していただき、給付金を支給します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
妊婦支援者数		189	193	200
乳児全戸訪問実施者数		183	157	180
成果状況				
妊婦支援実施率		100	100	100
乳児全戸訪問実施率		96.8	93.5	95

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,775	781	453	0	0	541	
04年度 実績	25,297	17,202	4,003	0	0	4,092	
05年度 当初	23,364	15,235	4,167	0	0	3,962	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度の妊娠届出数は193人で、全数にケアプランを提案し支援ができており順調です。令和4年度の乳児全戸訪問率は93.5%で前年度と比較すると3.3ポイント減少しています。出産子育て応援給付金については、出産応援給付金263人、子育て応援給付金154人に支給しました。
<原因>
乳児全戸訪問は、訪問拒否家庭があり訪問率は減少していますが、はびねすでの面接等で100%支援ができています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	%	98.6	97.2	99.2
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	%	86.3	86	91
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%	87.8	89.7	90.5
各種子育て相談延べ件数	件	4,762	4,680	3,200

事務事業名 子ども医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	平成 15 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 428

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校3年生までの子ども
中学校3年生までの子どもの保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子どもの保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用の全部又は一部を助成します。
対象は中学3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用の医療費及び保険調剤とし、令和元年8月診療分からは個人負担は無料となります。
子どもの出生または転入（中学校3年生まで）により、山武市民となった子どもの保護者から、子ども医療費助成申請書に加入保険証（写し）を添付した申請を受け、受給券を発行します。（毎年、資格要件の有無を確認し、8月1日に切り替えとなります。）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
子ども医療費助成対象者数	人	4,584	4,481	4,272
成果状況				
医療費助成額	千円	109,343	110,674	110,075

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	113,015	0	29,273	0	560	83,182	
04年度 実績	114,467	0	29,290	0	633	84,544	
05年度 当初	114,403	0	32,959	0	317	81,127	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
医療費助成額が前年度より1,331千円増加し、順調です。
＜原因＞
前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染予防を背景とした、医療機関の受診控えが解消してきていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	64,652	66,823	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	13.5	11.6	4.3

事務事業名 高校生等医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1816

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生等
高校生等の保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

高校生等の保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、就学・子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

18歳（高校3年生）に達する日以後の最初の3月31日までの就学している者の保険診療分の医療費を償還払いで助成します。
（手順）
保護者は、助成制度を利用するための登録申請をします。
保険受診をしたときは、医療機関で通常の支払いをし、領収書を受領します。
医療費助成申請書に領収書等の必要書類を添付し、市に申請します。
市で申請書類を審査し、助成金を登録口座へ振り込みます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
資格登録人数	人	855	804	820
医療費助成件数	件	4,313	4,489	4,264
成果状況				
資格登録率	%	74	72	73
助成実人数	人	531	519	525

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	9,041	0	0	0	0	9,041	
04年度 実績	9,156	0	0	0	0	9,156	
05年度 当初	8,961	0	0	0	0	8,961	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
資格登録人数、資格登録率ともにわずかに減少していますが、医療費助成件数は増加し、ほぼ順調です。
<原因>
少子化による対象者の減少から資格登録人数が減少していると考えられます。医療費助成件数は増加している一方、助成実人数が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染症感染予防の影響による受診控えの影響と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	64,652	66,823	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	13.5	11.6	4.3

事務事業名 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 02 年度			事務事業整理番号 2168

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

18歳（障害がある場合20歳）までの児童を養育する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける低所得の子育て世帯及びひとり親家庭の経済的負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

ひとり親の子育て世帯分として、令和4年4月分の児童扶養手当受給者に申請不要のプッシュ型で、児童1人当たり5万円を支給します。
令和4年4月分以降の児童手当受給者で令和4年度の住民税が非課税の子育て世帯に申請不要のプッシュ型で児童1人当たり5万円の給付金を支給します。高校生相当の年齢児童を養育し、令和4年度の住民税が非課税の子育て世帯に対しては申請により給付金を支給します。
その他、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、それぞれの所得要件等を満たす子育て世帯に対し申請により給付金を支給します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
給付金支給世帯数		656	643	1
給付金支給児童数		1,043	1,038	1
成果状況				
給付金執行率		84.11	99.33	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	54,591	54,590	0	0	0	1	
04年度 実績	66,870	53,920	0	0	0	12,950	
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
辞退された方は、0件です。未申請の児童は7人です。
<原因>
児童手当受給者へ積極支給することにより、高い執行率となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	64,652	66,823	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	13.5	11.6	4.3

事務事業名 三世代同居等支援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2081

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

三世代同居または近居をするために市内へ転入した者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

三世代同居または近居をする方が増加し、子育てしやすい環境が整うとともに、若い世代の山武市への移住定住促進が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

三世代同居または近居をするために市内へ転入した方に対し、住宅取得等にかかる費用を補助しました。
＜補助内容＞
住宅の購入、新築、建替え、増築又はリフォーム工事に要した費用の2分1の額（上限 75万円）を補助します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
三世代同居等支援補助金申請受付件数	件	8	18	20

成果状況				
三世代同居等支援補助金を活用した転入者数	人	22	60	60
三世代同居等支援補助金交付額	千円	6,000	13,500	15,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	6,000	0	0	0	0	6,000	
04年度 実績	13,500	0	0	0	0	13,500	
05年度 当初	15,000	0	0	3,000	0	12,000	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して、転入者数は38人、補助金交付額は750万円増加しており順調です。
＜原因＞
理由としては、新型コロナウイルス感染症を原因とした住宅工事の遅延が解消しつつあり、前年度中に交付申請に至らなかった方が令和4年度に申請しているためと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	585	764	1,396
結婚する意欲のある独身者の割合	%	71.3	74	80

事務事業名 結婚応援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援	
計画年度	令和 04 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2185

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

結婚や家族形成への意欲や、それを応援する気運が高まり、婚姻件数や未婚率が改善し、次世代育成が進みます。

事務事業の内容、やり方、手順

結婚、家族形成へのイメージアップのための啓発活動や、結婚希望の実現に向けた後押しに取り組みました。

【令和4年度実績】

- ・結婚記念品「森のタンブラーSANBUSUGI」配付開始
- ・城西国際大学と協力し、結婚応援事業のロゴマークの作成
- ・山武市恋活イベント恋するさんむの実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
取組件数			3	2
成果状況				
婚姻件数			99	120
セミナー、イベント参加者数			26	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	613	0	251	0	0	362	
05年度 当初	1,055	0	300	0	0	755	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
窓口における婚姻届受理件数が99件。セミナー参加者が26人でした。

＜原因＞
婚姻数については、全国数値も減少傾向にあります。セミナー参加者数については、市内企業へのチラシの配付やSNS等を活用した情報発信の結果、職場でイベントを知り、同僚や知人を誘って参加された方が26人中15人でした。市内企業への情報発信は有効と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	585	764	1,396
結婚する意欲のある独身者の割合	%	71.3	74	80

事務事業名 生活困窮者自立相談支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進	
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1823

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活困窮者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

生活困窮者からの相談を受け、①生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握、②ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定、③自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう関係機関との連絡調整を実施します。上記の業務を社会福祉協議会への委託により実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
相談件数	件	251	214	240
成果状況				
相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合	%	5.1	9.3	20

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	21,675	9,418	1,889	0	0	10,368	
04年度 実績	22,483	13,600	1,842	0	0	7,041	
05年度 当初	22,422	9,891	0	0	0	12,531	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
生活困窮者からの新規相談件数は令和3年度より37件減少し、生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合は4.2ポイント増加し、成果状況は横ばいです。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言や行動制限の解除により求人数が回復傾向にあり、相談件数が減少し支援実施件数の割合が微増したと考えられます。ただし、延相談数は新規相談数の累積により、増加しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生活困窮者相談件数	件数	2,501	2,661	1,520

事務事業名 住民税非課税世帯等臨時給付金給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進	
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実	
計画年度	令和 03 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2195

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ①令和3年度住民税均等割が非課税の世帯（R3繰越事業）
②令和4年度住民税均等割が非課税の世帯（①以外）
③新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、住民税非課税世帯と同程度の水準と認められる世帯
※課税者の扶養親族のみからなる世帯は除きます。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変世帯に対し10万円を速やかに支給し、生活の支援を行うものです。

事務事業の内容、やり方、手順

- ①対象者：令和3年12月10日時点での世帯状況を確認し、令和3年度住民税非課税世帯に対して「確認書」を送付し、迅速な給付を行います。（申請期限：令和4年9月30日まで）
②対象者：令和4年6月1日時点での世帯状況を確認し、令和4年度住民税非課税世帯に対して「確認書」を送付し、迅速な給付を行います。（申請期限：令和4年9月30日まで）
③対象者：申請により認められた方に対し、給付を行います。

※課税者の扶養親族のみからなる世帯は除きます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
申請方式件数及び確認書送付件数		5,981	725	0
成果状況				
給付件数割合		88.5	91.7	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	531,599	531,499	0	0	0	100	
04年度 実績	69,958	69,958	0	0	0	0	82,655
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 令和3年度と比べて給付件数割合は3.2ポイント増加しました。 ＜原因＞ 令和3年度給付金は申請期限が令和4年9月30日までの繰越事業であるため、令和3年度中に事業が終了しなかったことにより、令和4年度給付金が増加しています。
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生活困窮者相談件数	件数	2,501	2,661	1,520

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進	
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 302

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護法に基づいた最低限度の生活を送り、自立が可能となります。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長する。
<保護の種類>
生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業扶助、葬祭扶助、出産扶助、就労自立給付金、進学準備給付金、保護施設事務費及び委託事務費

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
生活保護申請件数	件	95	119	120
生活保護開始件数	件	72	77	80
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	371	380	390
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数		12	9	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	650,387	470,817	16,265	0	4,592	158,713	
04年度 実績	680,190	511,883	10,630	0	7,369	150,308	
05年度 当初	728,145	542,613	0	0	4,660	180,872	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
自立件数は3件・25%減少しましたが、成果は、おおむね順調と評価しました。
<原因>
生活保護の相談件数、申請件数が過去最多を記録し、相談・審査対応でケースワーカーが手いっぱいとなったことにより、自立に向けた就労支援等が十分に届かなかったと分析しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
自立による生活保護廃止件数	件	12	9	9

事務事業名 小学校用備品整備事業(管理)

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 767

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内各小学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童が充実した学校生活を送ることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校の要望を取りまとめ、備品を一括購入。 予算額：1校当たり200千円に1クラス当たり20千円を加算した額 学校数11校×200千円＝2,200千円 クラス数77クラス×20千円＝1,540円 松尾小学校管理備品 65,000千円（令和4年度のみ） ※但し、学校の要望により管理と振興で予算を調整。 入札案件：6件 随意契約案件：14件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
小学校管理用備品入札、随意契約件数	件	11	20	20
成果状況				
小学校管理用備品購入額	千円	3,143	43,782	3,660

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,143	0	0	0	0	3,143	
04年度 実績	43,961	0	0	0	0	43,961	
05年度 当初	3,660	0	0	0	0	3,660	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 学校の要望に沿う備品（管理）の一部について、一括購入したことで、多種にわたる備品が購入でき、教育環境の充実を実現させることができました。また、前年度と比較し、購入金額が40,818千円の増となりました。
＜原因＞ 経年劣化等で部品を交換できない備品を買い替えしたほか、令和4年度は、松尾小学校の建替に伴い什器等備品を購入したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	62	61.4	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	55.3	46.9	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	46.4	40.1	50

事務事業名 英語教育推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1903

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

英検取得により英語力が向上し、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内中学生 1 名につき 1 回、英検受験料の補助（全額）を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
英検を実施した学校数	校	5	4	4
成果状況				
中学校卒業時の英語検定 3 級以上取得割合	%	46.4	40.1	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,709	0	0	0	500	3,209	
04年度 実績	3,598	0	0	0	3,598	0	
05年度 当初	3,965	0	0	0	3,965	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
中学校 3 年生の 3 級以上の取得割合が令和 3 年度より 6.3 ポイント減少しました。

<原因>
英語検定対策講座の夏季・冬季の 2 回実施は定着してきました。令和 4 年度は、1 人 1 台端末を活用し、英語検定対策講座を個別で取り組めるよう工夫しましたが、講座を受講する生徒の減少や 2 次対策に向けた取組が少なかったことが原因と考えられます。また、受講生の増加を図るため、効果的な方法を思案し周知していく必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	62	61.4	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	55.3	46.9	56
中学校卒業時に英語検定 3 級以上を取得している生徒の割合	%	46.4	40.1	50

事務事業名 学力向上支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2071

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童一人一人のニーズに対応した学習環境が整っています。
「やる気を育てる学習支援」により、主体的に学びあう児童が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

・学力向上推進指定校（小学校3校、中学校1校）を決定（輪番）小学校は2・3年生の算数、中学校は1年生の数学を対象として、授業内でチームティーチングによる学力向上に特化した少人数指導を実施します。
週5日 1学期40日、2学期40日、3学期30日
・教員のスキルアップを図るため、授業で教員等にアドバイスや相談等の支援を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
支援学校数	校	2	4	4
成果状況				
勉強が好きと回答した児童生徒の割合	%	88.4	77	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	908	0	0	0	0	908	
04年度 実績	2,075	0	0	0	0	2,075	
05年度 当初	2,083	0	0	0	0	2,083	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度の「勉強（算数・数学）が好きと回答した児童生徒の割合」は77.0%でした。
＜原因＞
事後アンケートにて対象教科（算数・数学）が「好き・まあまあ好き」と回答した割合が前年度と比較し11.4ポイント減少しました。指定校4校のうち中学校1校（1年生）の割合が低いことが原因です。中学校の数学は量も多く、質も難しいものとなるため、苦手意識が出てきたものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	62	61.4	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	55.3	46.9	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	46.4	40.1	50

事務事業名 ICTサポート事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1787

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内小中学校児童・生徒・教職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣。
派遣回数
平成26年度： 7回×19校 令和元年度：16回×17校
平成27年度：40回×19校 令和2年度：16回×17校
平成28年度：29回×19校 令和3年度：33回×16校
平成29年度：28回×19校 令和4年度：33回×15校
平成30年度：18回×19校 令和5年度：30回×15校
以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
教員のICT活用を支援する外部人材の派遣回数	回	33	33	30
成果状況				
ICTを活用した授業を実施した教員の割合	%	87	82	87

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	13,649	0	0	0	0	13,649	
04年度 実績	13,140	0	0	0	0	13,140	
05年度 当初	14,157	0	0	0	0	14,157	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
前年より機器を活用した教員の割合が減少しました。
<原因>
管理職の回答数が昨年度より多くなった為です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	56.7	52.1	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	47.8	38.8	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	64	69.7	50

事務事業名 小中学校閉校・開校事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1973

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校統合に伴い閉校・開校となる学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校統合に伴い閉校・開校する学校の準備を円滑に行います。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼中・松尾中統合に伴う閉校・開校する学校の準備を行います。

- ・不用品の廃棄、備品の移設等
- ・校名変更に伴う看板設置等
- ・校歌額設置

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
統合に伴い閉校となる学校数		2	0	0
成果状況				
過小規模校数		0	0	0
閉校記念実行委員会設立数		2	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	9,981	0	0	0	233	9,748	
04年度 実績	1,720	0	0	0	189	1,531	635
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年4月の蓮沼中学校・松尾中学校の統合に伴い、残置物等の廃棄・運搬等を予定どおり行いました。また、令和3年度の繰越分で学校旗（備品）を購入しました。
<原因>
統合中学校の閉校・開校の業務が迅速・的確に出来たことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 小学校施設整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1379

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校に通う児童や教職員、保護者等

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修理や改修等を行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
修繕及び工事件数	件	66	98	100
修繕及び工事費	千円	23,670	34,574	19,628
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	13,042	19,185	10,474

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	23,670	0	0	0	3,720	19,950	
04年度 実績	34,574	0	0	0	1,100	33,474	
05年度 当初	18,990	0	0	0	0	18,990	(2,395)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
不具合や老朽化による工事等を実施し、施設維持ができ順調です。
＜原因＞
法定点検や学校施設管理者による点検により、不適合箇所や不具合箇所の発見に努め工事等を実施したためと思われる。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 中学校施設整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1380

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校に通う生徒や教職員、保護者等

事務事業の内容、やり方、手順

中学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修理や改修等を行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
工事件数	件	37	41	50
修繕及び工事費	千円	11,766	14,088	10,385
成果状況				
生徒一人当たりの経費	円	10,815	13,625	9,364

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	11,767	0	0	0	86	11,681	
04年度 実績	14,089	0	0	0	1,733	12,356	
05年度 当初	10,400	0	0	0	0	10,400	(2,453)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
不具合や老朽化による工事等を実施し、施設維持ができ順調です。
＜原因＞
法定点検や学校施設管理者による点検により、不適合箇所や不具合の発見に努め工事等を実施したためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 松尾小学校新校舎整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 29 年度 ～ 令和 04 年度				事務事業整理番号 1921

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

統合により整備された小学校が、児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

規模適正化・適正配置基本計画に伴い、豊岡小学校と松尾小学校が統合し、新しい松尾小学校となりました。松尾小学校の経年による老朽のため校舎を改築、外構整備工事等含め全ての工事が完了しました。
※財源は、地方債や教育施設等騒音防止対策事業費助成金（NA助成金）等を活用しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
委託件数	件	2	7	1
工事件数	件	1	3	0
成果状況				
供用開始までの事業進捗率	%	92.27	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	978,233	0	0	834,900	143,333	0	30,547
04年度 実績	1,507,264	0	0	1,162,200	344,821	243	190,741
05年度 当初	9,130	0	0	0	9,130	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
全ての工事等について、計画どおり完了しているため、順調です。
＜原因＞
地域住民のご理解ご協力を得ながら、教職員、施工業者、工事監理業者との連携を密にし、様々な状況に対応出来たためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 小学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2011

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校11校のうち南郷小、成東小、大富小に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等に起きた不具合、故障等のための設計や改修等を行いました。
南郷小：東側校舎外壁等改修工事実施設計業務委託
成東小：受水槽改修工事実施設計業務委託
大富小：キュービクル改修工事（含工事監理）
※起債等を活用し設計や工事、工事監理を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
修繕及び工事件数	件	1	1	3
修繕及び工事費	千円	1,210	31,026	122,738
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	667	17,218	70,378

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,705	0	0	300	195	1,210	
04年度 実績	33,394	0	0	24,700	8,336	358	
05年度 当初	132,820	9,184	0	92,500	31,136	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
改修工事等が計画どおり完了しているため、順調です。
＜原因＞
財源確保の基、工事発注及び進捗管理を適切に実施したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 中学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 03 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2140

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校4校のうち成東中、山武中、山武望洋中に通う生徒や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

中学校施設等に起きた不具合、故障等のための設計や改修等を行いました。
成東中：天井等改修工事（含工事監理）
山武中：電子黒板設置工事（含設計、工事監理）
山武望洋中：職員室床改修、プログラムタイマー更新、壁樋修繕、特別支援教室照明LED化等
※起債等を活用し設計や工事、工事監理を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
修繕及び工事件数		3	6	0
工事費		290,598	18,523	0
成果状況				
生徒1人当たりの経費		267,586	17,914	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	51,995	0	0	49,300	2,623	72	
04年度 実績	19,490	0	0	2,300	4,070	13,120	
05年度 当初	2,497	0	0	1,800	697	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
改修工事等が計画どおり完了しているため、順調です。
＜原因＞
財源確保の基、工事発注及び進捗管理を適切に実施したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 小学校空調設備改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 03 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2173

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校11校のうち山武北小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

経年による老朽化のため、山武北小学校西側校舎空調設備改修工事を行いました。
令和3年度に実施設計業務委託を実施し、令和4年度に改修工事及び工事監理業務委託が完了しました。
※学校施設環境改善交付金が令和3年度に交付決定され、繰越明許費として活用し、工事や工事監理を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
委託件数（工事設計）		1	0	0
大規模改修実施率		0	0	0
成果状況				
工事件数（工事監理委託を含む。）		0	2	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,124	0	0	900	2,224	0	
04年度 実績	0	0	0	0	0	0	63,239
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
改修工事等が計画どおり完了したため、順調です。
<原因>
財源確保の基、工事発注及び進捗管理を適切に実施したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 通学バス運行事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1972

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校統合に伴う遠距離通学児童・生徒の負担軽減及び安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校統合により遠距離通学となる児童生徒を対象に通学バス運行を行います。 【松尾小学校】平成31年4月より運行開始 対象：豊岡小学校区の児童。車両：マイクロバス2台 【日向小学校】令和3年4月より運行開始 対象：統合により従来より通学距離が遠距離となり、かつ概ね通学距離が2km以上の児童。車両：路線型大型バス3台・同中型バス1台 【山武望洋中学校】令和4年4月運行開始 対象：蓮沼中学校区の生徒。車両：路線型バス2台
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
利用児童生徒数		236	314	314
運行日数		204	267	267
成果状況				
運行休止により、通学が不可能となった日数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	47,540	4,375	0	0	0	43,165	
04年度 実績	62,635	12,539	0	0	0	50,096	
05年度 当初	62,870	10,282	0	0	0	52,588	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 車両の不具合や事故等により、登下校が不可能になった日数はありませんでした。 <原因> 市、学校、委託業者間で連携をとり、登下校に支障をきたすことなく運行が出来たことによるものです。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 成東学校給食センター施設管理運営事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1026

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

給食受給者
受給者の保護者等
成東学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に
安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食センターを運営します。
<調理・衛生関係>
・栄養士の指導による調理・衛生計画
・市と委託事業者との打ち合わせ（衛生管理含む）
・給食の調理、配送、回収、洗浄、保管
<給食費関係>
・給食申込書等によるデータ作成及び修正
・納付書発行・口座振替の依頼
・督促状、催告書発行
・臨戸徴収の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
給食数（成東センター調理分）	食	395,127	368,609	403,485
臨戸徴収件数	件	2,691	49	60
成果状況				
給食を支給できなかった日数	回	0	0	0
市全体の給食費収納率	%	99.61	98.98	99

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	248,837	0	0	0	112,455	136,382	
04年度 実績	243,575	0	926	0	101,612	141,037	
05年度 当初	251,241	0	4,030	0	93,246	153,965	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
臨戸徴収件数は前年度と比較して大幅な減少ですが、収納率は98.98%で維持・横ばいです。成東学校給食センターで給食を提供している小中学校(10校)は、施設の不具合等により給食を支給できなかった日数は0件で順調です。
<原因>
臨戸徴収件数は、収納員による給食費臨戸徴収を廃止により減少しました。収納率は口座振替の推進により横ばいです。毎日の点検や定期点検により施設、設備の機能や性能の劣化を早期に把握し故障・事故を未然に防ぎました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 学校給食センター施設整備事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 30 年度 ～ 令和 08 年度				事務事業整理番号 1981

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東学校給食センター、山武学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

衛生的かつ安全な学校給食が安定的に供給されます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東学校給食センターおよび山武学校給食センターを統合し、現在の学校給食衛生基準にあった給食センターを整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
受託事業者との打合せ回数		10	17	12
成果状況				
進捗率		5	15	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	5	0	0	0	0	5	18,821
04年度 実績	20,134	0	0	11,600	0	8,534	19,613
05年度 当初	123,446	28,673	0	27,200	9,474	58,099	(28,831)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
受託事業者との打ち合わせ件数は計画回数12回に対し、17回で順調です。また、基本設計が完了し実施設計に着手したため、進捗率は15%で計画どおり進行しています。

<原因>
委託業者と定期的に打ち合わせを行い、進捗状況を確認し、工程管理を確実に実施したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	0	0

事務事業名 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1913

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼・小・中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・学習の選択肢が広がります。
・子どもたちとシニア世代の相互連携による教えあい、学びあいの場が構築され、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

NP0法人との協働により学校支援センターを運営し、学校支援を実施します。
○平成28年度 調査研究員によりニーズ調査、実証事業を実施、NP0法人 教育サポートGAA設立
○平成29～令和元年度 教育に関する各種調査研究を実施、学校支援を実施
○令和2年度 学校支援センター試行と並行し、運用方法の調査研究、コミュニティ・スクールの導入推進、（仮称）子どもトータルサポートシステム施行準備、学校支援を継続
○令和3年度～ 前年度調査研究の結果を受け、学校支援センターを本格稼働、学校支援を継続

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
調査研究のための会議実施数	回	46	47	47
成果状況				
学校支援実施回数	件	746	811	693

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	8,013	0	0	0	4,006	4,007	
04年度 実績	8,010	0	478	0	7,532	0	
05年度 当初	8,019	0	1,112	0	6,907	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度の学校支援実施回数は811回となり、前年度746回と比べ65回の増となりました。
＜原因＞
「学校の困ったにマッタする」を基本理念に学校が要望する支援を実施しているため、支援回数は年々増加しています。令和4年度は811回のうち外国人児童・生徒への支援が537回を占める結果となり前年度同様に日本語支援へのニーズが高い状況が続いています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	498	431	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	4	6	3

事務事業名 コミュニティ・スクール推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2012

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校の教職員・生徒 地域住民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。
--

事務事業の内容、やり方、手順

各小中学校に学校運営協議会を設置し、学校運営や学校・地域の共通課題解決にむけて協議（熟議）し、地域とともに特色ある学校づくりを進める、コミュニティ・スクールの導入を推進します。まずは、統廃合による新設校からコミュニティ・スクールの導入を図ります。	
【手順】	
4月～	学校運営協議会の設置（新設時） 市教育委員会（委員委嘱）
年2回～3回	会議の開催（学校運営の基本方針の承認、学校・地域課題解決などの協議）
2月	学校評価の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
協議会の開催回数		16	22	18
成果状況				
活動部会数		4	6	6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	582	0	0	0	0	582	
04年度 実績	1,084	0	0	0	0	1,084	
05年度 当初	1,722	0	0	0	0	1,722	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 小学校4校、中学校2校の合計6校がコミュニティスクールを導入し、順調です。
<原因> 統廃合による新設校が統合をきっかけに導入したことと、以前から地域連携が盛んに行われていた地区がコミュニティスクールとして組織再編し活動を見直したことからです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	498	431	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	4	6	3

事務事業名 成東文化会館施設管理事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
成東文化会館利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域文化活動の拠点として、成東文化会館のぎくプラザが常時正常に稼動し、安心して利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・施設概要 ホール（368席）、楽屋1、楽屋2、会議室1（37人）、会議室2（27人）、視聴覚室（椅子のみ126人）及び付属設備を有償で貸し出しています（ただし山武市内の公共機関については使用料を免除している）。また、建物内に成東図書館を有しています。
ホールは1年先、会議室等は6ヶ月先まで電話にて予約を受付しています。ホールは使用日の7日前、会議室等は使用日の当日までに申請書を会館窓口へ提出し使用料を納付します。
・月曜日（祝日の場合は翌々日）、祝祭日の翌日及び年末年始を除き、9：00～21：30まで利用することができます。
・夜間警備や空調設備、浄化槽設備、舞台機構等の保守点検、清掃業務等を業者に委託し施設の維持管理を行います。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
開館日数	日	259	293	294
業務委託及び借上件数	件	29	27	29
成果状況				
施設貸出数	件	537	741	900
施設苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	34,890	0	0	0	1,532	33,358	
04年度 実績	39,609	0	0	0	2,704	36,905	
05年度 当初	52,950	0	0	6,500	1,492	44,958	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
施設貸出数は、前年度から204件増加しており、事業成果は向上しています。また、施設苦情件数は前年度に引き続き0件であり、順調です。
＜原因＞
施設貸出数の増加は、施設改修工事が無かったことや新型コロナウイルス感染症に対する社会情勢の変化により自粛傾向が緩和され貸出数が回復してきていることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 成東中央公民館施設管理運営事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1055

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・成東中央公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設を安全に利用していただける状態にします。

事務事業の内容、やり方、手順

施設の概要：1F 第1会議室、2F 視聴覚室、第1・2研修室、第2・第3・第4会議室、3F 講堂
利用料金(1時間当たり)：講堂は市内550円・市外1,100円、第1会議室・視聴覚室は市内440円・市外880円、第1・2研修室・第2会議室は市内330円・市外660円、その他は市内220円・市外440円
休館日：毎週月曜日(但し月曜日が祝日法に規定する休日に当たる場合は、その翌々日)、祝日法に規定する休日の翌日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
開館時間：午前9時から午後5時(夜間開放日は午後9時まで)
受付は直営で対応し、維持管理については業者委託で対応しています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
施設補修件数	件	4	2	2
開館日数	日	253	293	293
成果状況				
不具合発生件数	件	0	0	0
成東中央公民館年間利用者数	人	16,576	24,138	20,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	9,113	0	0	0	646	8,467	
04年度 実績	9,826	0	0	0	793	9,033	
05年度 当初	9,681	0	0	0	838	8,843	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度に比べ開館日数が40日増加し年間利用者は7562人増加しています。また、施設の不具合発生件数は0件でした。
＜原因＞
利用者数の増加はコロナの影響の軽減に伴い、開館日数が増加したことによるものです。不具合発生件数については、日常的な点検と、早期修理に努めた結果です。
修繕箇所：消防設備修繕工事（差動式スポット型感知器・誘導灯バッテリー等交換、自家発電用蓄電池交換）

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 松尾公民館施設管理事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	平成 28 年度 ～ 令和 05 年度			事務事業整理番号 1890

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・松尾公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全で安心な施設を維持管理しています。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
・スタジオ：A・B・C・D 合計4室
・授乳室、男女更衣室、シャワー室、情報コーナー、キッズルーム
・駐車場、アーケード、芝生広場及び石庭
・開館時間：午前9時から午後9時30分
・休館日：毎週月曜日 年末年始（12月29日～1月3日）
・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
施設補修件数		0	3	0
開館日数		272	308	309
成果状況				
不具合発生件数		0	0	0
年間スタジオ利用者数		10,572	16,112	16,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	6,107	0	0	0	1,983	4,124	
04年度 実績	8,089	0	0	0	2,681	5,408	
05年度 当初	7,947	0	0	0	2,276	5,671	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
不具合発生件数は0件です。前年度に比べ年間スタジオ利用者数は、5540人増加しました。
＜原因＞
不具合発生件数については、施設の点検、早期修理に努めた結果です。年間スタジオ利用者数が増加については、開館日数が36日増加したことによるものです。修繕箇所:ラミネータ修繕、BスタジオCDデッキ修繕、誘導灯ランプ修繕

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 松尾図書館運営事業

教育部 図書館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1044

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

図書館利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民が図書館を利用するようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

図書館を運営し、サービスを行うにあたり、図書等の整備や各種事業を実施します。

<運営方法>

- ・開館時間：午前9時30分～午後6時
- ・休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌々日）
祝日の翌日
年末年始（12月29日～1月4日）
館内整理日（毎月第3木曜日）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
開館日数	日	250	280	268
松尾図書館蔵書冊数	冊	92,242	94,559	85,000
成果状況				
松尾図書館の利用登録者数	人	8,267	8,412	7,500
松尾図書館貸出冊数	冊	64,510	65,925	65,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	16,620	0	0	0	10	16,610	
04年度 実績	15,915	0	0	0	4	15,911	
05年度 当初	12,242	0	0	0	3	12,239	(47,568)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>①前年度と比較して、利用登録者数は145人増加しました。
②前年度と比較して、貸出冊数は1,415冊増加しました。
<原因>①小学一年生の登録が増加したことが要因と考えられます。
②新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館がなく、開館日数が前年度に比べて30日増加したことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 さんぶの森公園グリーンタワー外壁等改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1952

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園グリーンタワー

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶの森グリーンタワーの施設維持を実施するにあたり、展望塔より電波塔への用途変更による外壁等の改修工事を行い、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森グリーンタワーについて、早急に改修工事を実施する必要が生じていることから、外壁等の改修工事を実施します。

令和2年度
・改修工事実施設計業務委託（展望塔）
令和3年度
・工事後用途再検討
令和4年度
・改修工事実施設計業務委託（電波塔）
令和5年度
・改修工事及び工事監理業務委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
委託件数			1	1
工事件数			0	1
成果状況				
改修進捗率			30	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	495	0	0	0	0	495	
05年度 当初	147,323	0	0	0	147,323	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
展望塔から電波塔への用途変更による改修工事に基づく設計業務委託は予定通り年度内に完了しており順調です。

＜原因＞
予算の範囲内において、また、年度内に予定通りに業務を発注し、完了していることから、計画通りに進んでいます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 さんぶの森公園改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 06 年度			事務事業整理番号 2074

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公園利用者が、安心安全に利用できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森公園について、施設維持の健全化や利便性の向上を図るため、老朽化した施設について計画的に改修工事等を実施します。	
令和 3 年度	園路灯健全度調査業務委託
令和 4 年度	木道・園路灯工事監理業務委託及び工事 バーベキュー施設施設改修工事（改修後休憩施設）、木製テーブル・イス撤去工事
令和 6 年度	炊事場及び休憩施設屋根等塗装工事設計業務委託
令和 7 年度	炊事場及び休憩施設屋根等塗装工事監理業務委託及び工事
令和 8 年度	トイレ改修工事設計業務委託 トイレ工事監理業務委託及び工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
委託件数		2	0	0
工事件数		2	2	0
成果状況				
改修進捗率		100	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	47,288	22,000	0	0	24,877	411	
04年度 実績	1,932	0	0	0	0	1,932	
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ☐ 非常に順調 ☒ 順調 ☐ 一部遅延あり ☐ 遅延あり
- ②事業成果状況 ☐ 向上 ☒ 維持・横ばい ☐ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 年度内に予定をしていた工事については完了しており順調です。
<原因> バーベキューピットについては、施設の有効活用として休憩所としてテーブルに改修工事が行われており、利用者の活用が見られます。また、老朽化により危険であった木製テーブルやイスについては撤去工事が完了しており、健全な施設維持が行われています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 さんぶの森公園ふれあいセンター施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	令和 03 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2197

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森ふれあいセンター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶのふれあいセンターの施設維持を実施するにあたり、屋根・外壁の雨漏り対応等の改修工事を行い、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森公園ふれあいセンターについて、屋根・外壁からの雨漏り対応、設備の老朽化による施設内のトイレの洋式トイレ化、空気調和設備の改修、電気のLED化やキュービクルの改修工事を実施します。

令和4年度
・改修工事実施設計業務委託
令和5年～6年度
・改修工事及び工事監理業務委託（繰越明許）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
打合せ回数			2	3
成果状況				
改修進捗率			30	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	3,014	0	0	2,700	0	314	
05年度 当初	375,316	0	0	337,700	37,616	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
改修工事に基づく設計業務委託は予定通り年度内に完了しており順調です。

＜原因＞
予算の範囲内において、また、年度内に予定通りに業務を発注し、完了していることから、計画通りに進んでいます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	128,246	202,255	326,900

事務事業名 食虫植物群落保護管理事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 953

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

天然記念物「成東・東金食虫植物群落」
見学者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

当群落が、国指定天然記念物として、指定解除や植物が滅失しないよう良好な状態で後世に引き継がれます。また、当群落の案内などの活用を通して文化財普及が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域やボランティア団体の協力を得て、適切な保護活動の実施と観察週間などの教育普及を行います。
《主な保護事業》
・食虫植物群落の監視
・食虫植物群落管理（除草・除根・野焼き等）
・食虫植物保全調査
・試験的な保護増殖の取り組みとパイオによる種子の確保
・保存活用計画の策定
《活用》
・観察週間を設定し、植物の資料の配布や質問に応える人員を配置

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
予算等で計画した保護事業（作業等）の件数	回	9	9	9
見学者への対応	人	2,393	1,885	3,300
成果状況				
予算等で計画した保護事業（作業等）の実施件数	回	9	9	9
見学者数	人	2,393	1,885	3,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,746	530	66	0	995	155	
04年度 実績	1,917	530	66	0	1,100	221	
05年度 当初	2,560	530	66	0	1,621	343	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度の見学者数は1,885人と前年度比 - 508人となりました。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症対策による受付時の検温・消毒や入場制限により団体の受け入れが事実上できなかったこと、観察路での植物の案内を中止したことにより、案内無しの見学に興味関心が薄れてしまったことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	5,302	3,474	10,000

事務事業名 歴史民俗資料館改修事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用	
計画年度	令和 01 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 1224

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
利用者
登下校で資料館敷地を通行する児童・生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

改修工事により見学環境が改善し、市民・利用者が安心・安全に来館できます。

事務事業の内容、やり方、手順

令和3年1月外壁のタイルが一部剥落する事態が生じました。剥落した箇所は修繕しました。調査の結果、建築して約50年が経過し、雨水の浸食等による劣化が原因で、風雨を最も受ける場所のタイルが剥落したことが判りました。また、タイルの劣化は他の箇所にも及んでいることが確認されました。改修工事に際して、外壁材は、市内産のサンブスギを使用し、ガラス質塗料を塗布し、強度や防水性等を確保すると共に、山武市の伝統産業である山武林業を象徴する外観としました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
資料館改修工事数	件	0	1	1
身障者の来館数	人	59	56	60
成果状況				
年間来館者数	人	2,431	2,447	2,900

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	6,999	0	0	6,200	799	0	
05年度 当初							(11,900)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
公示の着手が遅くなり、年度を跨いでの工事実施となりました。

＜原因＞
ウクライナ戦争や新型コロナウイルス対策によりリモートワーク可能な住宅建設需要の世界的な高まりなどにより、木材価格の高騰の影響を受け、工事費の増額補正が必要となったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	5,302	3,474	10,000

事務事業名 伊藤左千夫顕彰事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1985

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・来館者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民に伊藤左千夫の偉業・功績を伝えます。

事務事業の内容、やり方、手順

郷土の生んだ明治時代の文豪・茶人：伊藤左千夫の偉業・功績を後世に伝えるため、下記の事業を実施します。
①第71回左千夫短歌大会
②左千夫茶会
③市指定史跡「伊藤家の墓地」管理

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
顕彰事業回数	回	5	6	6
成果状況				
顕彰参加数（人数・詠草数）	人	3,447	3,266	3,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	673	0	0	0	645	28	
04年度 実績	893	0	0	0	776	117	
05年度 当初	777	0	0	0	598	179	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度の成果指標値となる顕彰参加数の内訳は、短歌大会詠草数3,114首(前回3,447首)・式典当日参加者数59人(前回49人)、茶会参加者数94人(前回98人)でした。このうち詠草数の減少が前回より334首と顕著でした。
＜原因＞
詠草数減少の理由は、前回と比較して、中学校1校・高校1校の参加が減少したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	5,302	3,474	10,000

事務事業名 成人式開催事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 966

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

二十歳になる新成人者（対象年4月2日から翌年4月1日まで生まれた者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

青年を祝い励ます式典を行うことにより、成人になったことを自覚し、社会人の一員として自ら生き、責任ある行動をとれるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

市の成人式は二十歳となる対象者から、実行委員を募集し、実行委員会形式で実施。（2部構成）

実行委員会を年6回程度開催し、成人式の企画、運営、記念品の選定等を検討。
《場所》 山武市成東文化会館のぎくプラザ

＜内容＞今年度は通常とは異なり3部制での開催となりました。
（第1部：成東東中、蓮沼中）
（第2部：山武中、山武南中）
（第3部：成東中、松尾中）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
成人式出席者数	人	565	336	400
実行委員会との打合せ回数	回	9	7	7
成果状況				
成人式の出席率	%	69.07	80.58	75
成人式の企画に関わった新成人数（実行委員数）	人	34	29	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	668	0	0	0	0	668	
04年度 実績	554	0	0	0	0	554	
05年度 当初	898	0	0	0	0	898	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度は新型コロナウイルスの影響で構成を2部構成から3部構成に変更して実施しました。出席率は前年度の69.07%から11.51ポイント向上し80.58%となりました。
＜原因＞
従来の2部構成から3部構成にし、新型コロナウイルス感染症対策を考慮して開催できたことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	856	969	3,482
海外派遣事業応募者数	人	-	-	35

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の中学生・高校生
少年海外派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海外で、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付します。

研修生は、募集時に提出した作文及び面接により選考します。
募集定員は18名（ほかに団長・随員各1名）
事前研修4回、事後研修1回実施
8月中旬ごろニュージーランドに出発（期間6泊8日）

※令和4年度は、代替事業としオンライン交流会を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
打合せ日数（面接・結団式・研修会）	日	0	2	7
成果状況				
海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合	%	0	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	387	0	0	0	0	387	
05年度 当初	4,594	0	0	0	500	4,094	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
渡航状況の情報を取り入れながら実施に向け検討し、オンライン交流会で代替事業を実施しました。
＜原因＞
新型コロナウイルスの影響により、渡航制限等の改善見込みが立たなかったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	856	969	3,482
海外派遣事業応募者数	人	-	-	35

事務事業名 生涯学習振興大会開催事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 961

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（社会教育関係者、PTA関係者、一般）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

自己研磨及び生涯学習に対する理解が深まります。

事務事業の内容、やり方、手順

社会教育委員、社会教育関係者、PTA関係者等を対象に講演会等を開催します。
山武市生涯学習振興大会は隔年開催事業であるため、令和4年度は休止となります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
打合せ回数	回	4	0	3
成果状況				
参加者数	人	85	0	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	168	0	0	0	0	168	
04年度 実績							
05年度 当初	453	0	0	0	0	453	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況
- ☐ 非常に順調
- ☐ 順調
- ☒ 一部遅延あり
- ☐ 遅延あり
- ②事業成果状況
- ☐ 向上
- ☒ 維持・横ばい
- ☐ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
生涯学習振興大会開催事業は、隔年事業となります。
<原因>
令和4年度は準備年度として、事業は行いませんでした。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値

事務事業名 スポーツ協会補助事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1187

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市スポーツ協会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市スポーツ協会の活動が活性化し、市内のスポーツ推進体制が充実します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市スポーツ協会の運営に要する経費の補助を実施
1. スポーツ協会の運営：年間事業に係る会議等を実施
①総会（書面表決）、理事会（年5回）、四役会（年7回）を開催
2. 専門部の活動（18専門部）：各種大会出場、会議等を実施
①前年度の活動実績により助成金を決定
②事業計画及び予算、助成金交付申請及び請求の受付
③実績報告
3. 支部の活動（11支部）：市民体育祭、支部体育大会、会議等を実施
①助成金の支給、1支部5万円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
主催・主管の大会・研修・講習会等に係る会議の開催回数	回	8	13	18
助成金を交付した加盟団体数	団体	29	18	29
成果状況				
主催・主管の大会・研修・講習会等の件数	件	0	0	7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,752	0	0	0	0	1,752	
04年度 実績	2,426	0	0	0	0	2,426	
05年度 当初	4,030	0	0	0	0	4,030	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
主催又は主管の大会等が中止となり、事業成果は低下しています。
<原因>
新型コロナウイルス感染症の影響により、健康・安全面の配慮があったことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	5.9	6.3	14.6
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	65.1	68.7	66.2

事務事業名 松尾運動公園管理事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1375

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾運動公園、豊岡体育館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

松尾運動公園、豊岡体育館について、適切な維持管理を行うことにより、利用者に安全で快適な施設を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

維持に係る清掃や保守等の業務委託、点検結果等による修繕等を実施し、施設の適正管理を行います。
○主な点検
・電気、消防設備
○修繕及び工事
・点検結果及び老朽化、故障箇所についての修繕、工事
○主な業務委託
・植栽管理、清掃

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
施設の利用者数	人	7,547	6,889	7,000
施設管理上の不具合、トラブル数		0	0	0
成果状況				
施設の利用者数	人	7,547	6,889	7,000
施設管理上の不具合、トラブル数	数	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	11,520	0	0	0	4,424	7,096	
04年度 実績	6,732	0	0	0	820	5,912	
05年度 当初	9,751	0	0	0	875	8,876	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
施設の利用者は、当初の成果指標より減少しており、低下しましたが、施設の不具合やトラブルはありませんでした。
<原因>
水道管の入替工事が12月から3月までであったことから、利用者数の減少に影響が生じましたが、適切な施設の維持が行われたことにより、不具合やトラブルは発生しませんでした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	71,523	110,587	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 蓮沼スポーツプラザ施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1983

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼スポーツプラザ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

蓮沼スポーツプラザの施設維持管理を実施するにあたり、施設内のエレベーターや空気調和設備の整備工事、外周工事として屋根における改修工事を行い、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼スポーツプラザについて、施設維持の健全化や利便性の向上を図るため、エレベーター、空気調和設備、屋根の改修工事を実施します。

令和 4 年度
・空気調和設備設計業務委託料
・屋根改修工事設計業務委託料
・昇降機準撤去新設工事
令和 5 年度
・蓮沼スポーツプラザ空気調和設備工事・工事監理業務委託
令和 6 年度
・蓮沼スポーツプラザ屋根改修工事・工事監理業務委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
打合せ回数	回		3	3
成果状況				
改修進捗率	%		30	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	4,477	0	0	4,000	0	477	
05年度 当初	154,638	0	0	139,100	15,538	0	(20,460)

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
空調改修工事及び屋根改修工事における設計業務委託は予定通り年度内に完了しており順調であるものの、エレベーター工事については、一部遅れが生じました。
<原因>
改修工事に係る設計業務は、予定通りに業務を発注し、完了していることから、計画通りに進みました、エレベーター工事については契約に至ったものの、作業員が不足により2年度間の工事となったことが要因となります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	71,523	110,587	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解出来るようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

子ども人権（CAP）に関する子ども向けプログラムおよび、教職員・保護者など大人を対象としたプログラムを市内各園（私立保育園含む）・小学校での実施を働きかけ、実施した際は講師費用等を負担します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
開催回数	回	9	17	24
成果状況				
延べ参加者数	人	113	257	400

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	300	0	0	0	0	300	
04年度 実績	591	0	0	0	0	591	
05年度 当初	1,039	0	0	0	0	1,039	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
幼稚園・こども園で11回（昨年比5回増）、大人が6回（昨年比3回増）実施し、参加者合計が257名（昨年比144名増）でした。小学校の参加は、昨年に引き続きありませんでした。

＜原因＞
増加要因は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことが大きな要因だと考えられます。しかし、小学校は、コロナ禍による行事の見直しや授業時数の確保等を優先したため、昨年に引き続き参加校がありませんでした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%	25.2	24.7	24.3
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%	8.5	11.3	10.5

事務事業名 人権相談事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	人権擁護の推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 207

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

人権が侵害されていると感じる人が減少します。

事務事業の内容、やり方、手順

人権擁護委員法に基づき法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談、啓発などの人権擁護活動を行いました。
・相談所開設：原則毎月第1～4火曜日、市内4地区
・広報：相談所開設日の広報誌への掲載（毎月）
・啓発：人権週間中の啓発物品配布
小学校での人権教室の開催

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
相談所開設回数	回	29	46	47
啓発活動の回数	回	1	7	2
成果状況				
人権が尊重されていると思う市民の割合	%	55.3	54.2	58.5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	323	0	0	0	0	323	
04年度 実績	328	0	0	0	0	328	
05年度 当初	339	0	0	0	0	339	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
人権が尊重されていると思う市民の割合は、令和3年度と比較し1.1%減少し、年々微減傾向となっています。
<原因>
新型コロナウイルス感染拡大の恐れから相談を控える人もおり、問題を抱えたままになってしまった方の増加や、コロナ禍で他人に対する寛容性が低下してしまったことなどが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
人権侵害に対する措置件数	件	808	1,164	424

事務事業名 地域まちづくり事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1337

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民(小学校区)

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動がさらに活発化するとともに地域の課題を地域で解決していきます。

事務事業の内容、やり方、手順

その地域の特性や実情に合わせて、行政区、自治会、各種地域団体、NPO、ボランティア団体、事業者及び市民による担い手が協力しながら地域自らが地域課題に取り組む地域まちづくり協議会の運営や活動に対する補助金を交付。
・補助対象：連沼むらづくり協議会
山武西まちづくり協議会
緑海まちづくり協議会

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
協議会への理解度	%	27.27	27.27	30.76
成果状況				
協議会数	区	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,525	0	0	0	2,278	1,247	
04年度 実績	2,984	0	0	0	2,476	508	
05年度 当初	5,927	0	0	0	2,913	3,014	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
協議会数は3団体であり、前年度と同数です。協議会の理解度は27.27%であり、前年度と同数です。
＜原因＞
協議会数は増加していませんが、3団体が連携してまちづくり交流会を開催したり、お互いの事業を視察する取り組みは、他地区においても活動のきっかけになると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	39.8	36.2	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	92.6	83.6	90

事務事業名 コミュニティ施設整備支援事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり	
基本事業番号	03	基本事業名	市民活動施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 213

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区・自治会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

区・自治会のコミュニティ施設の整備を支援することにより、地域住民の金銭的な負担が軽減されると共に地域住民相互の親睦が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域社会におけるふれあいのある生活を育成するため、住民が設置するコミュニティ施設の整備に要する経費に対して補助金を交付しました。
○施設（新築・増築・改築）：床面積1㎡×5万円を補助、限度額700万円、千葉県福祉のまちづくり条例第14条適合の場合は上限800万円
（修理）：事業費の1/3補助、限度額100万円、県条例適合の場合150万円
（解体）：事業費の1/4補助、限度額50万円
○構内舗装：事業費の1/3補助、限度額30万円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
要望件数	件	4	4	4
成果状況				
補助金交付決定件数	件	4	4	4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,720	0	0	0	0	1,720	
04年度 実績	921	0	0	0	0	921	
05年度 当初	921	0	0	0	0	921	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
補助金交付決定件数は4件で令和2年度から横ばいとなっています。
＜原因＞
地区からの申請に基づき補助を行っているため、件数に変動が生じやすい事業となっていますが、施設の老朽化が進んでいる地区が多く毎年同数程度の申請が行われていることが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市民活動支援施設の利用者数	人	29,483	42,586	45,000
活動場所に困っている市民活動団体の割合	%	15.1	18.2	23

事務事業名 ふるさと納税推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実	
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1099

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ふるさと納税により本市へ寄附された方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

寄附者への返礼品送付を通じて本市の知名度向上、来訪への契機とします。
加えて、地場産品取り扱いによる地域活性化と自主財源の確保に貢献します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・ふるさと納税制度の仕組み、概要などをホームページに掲載し、広く寄附を募集
- ・寄附をいただいた方には、礼状を送付
- ・前年度の寄附状況及び運用状況について、9月にホームページに掲載

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
ポータルサイト登録数	サイト	1	4	9
返礼品数	品	138	204	240
成果状況				
寄附受入件数	件	957	1,388	2,000
寄附金額	円	24,545,100	46,838,000	50,000,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	12,049	0	0	0	12	12,037	
04年度 実績	22,332	0	0	0	123	22,209	
05年度 当初	25,006	0	0	0	25,006	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して、寄附受入件数が431件（約45%）増加、寄附金が22,292,900円（約90.8%）増加しました。
＜原因＞
寄附受入件数及び寄附金の増加については、返礼品のメニュー増加や寄附受付の窓口となるポータルサイトの追加により、寄附者が寄附をしやすい環境がつけられたことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	91.8	90.8	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	87.7	86	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	400,468	316,750	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	144	172	215

事務事業名 広報さんむ作成・発行事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 90

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全世帯 市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民目線の広報紙を作製し、市内全戸配布することで、市政や行事等に関する情報が広く周知されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の世帯に配布する広報紙を作製し発行します。 市民と協働で広報紙を作製、市内全戸配布します。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
発行回数	回	12	12	12
成果状況				
印刷部数	部	288,000	288,800	288,000
広報紙を読んでいる市民の割合	%	91.8	92.2	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	13,869	22	0	0	1,000	12,847	
04年度 実績	17,228	22	0	0	1,008	16,198	
05年度 当初	23,254	22	0	0	817	22,415	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 広報紙を読んでいる市民の割合は、前年度と比較して0.4ポイント増加しました。
<原因> 令和3年度より広報紙の配布方法を市内全戸配布へ変更したことに伴い、増加したと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	91.8	90.8	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	87.7	86	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	400,468	316,750	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	144	172	215

事務事業名 さんむの魅力発信事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			2118

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市外在住者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市の知名度や魅力度などが向上することで山武市への関心を惹起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加が図られます。また、市民のシティプライドの醸成が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

様々な媒体を通じて市の魅力を発信します。

- ・SNS（Twitter Youtube等）
- ・TV、ラジオ等
- ・新聞、雑誌等
- ・広告（チラシ、デジタルサイネージ等）
- ・看板、垂れ幕、ステッカー等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

情報発信に利用した媒体数

単位	03年度	04年度	05年度
	6	7	7

成果状況

Twitterフォロワー数

	404	511	600
--	-----	-----	-----

Youtubeチャンネル公開動画視聴回数

	51,899	270,772	280,000
--	--------	---------	---------

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,808	0	0	0	1,722	86	3,256
04年度 実績	1,593	0	0	0	0	1,593	
05年度 当初	1,978	0	0	0	0	1,978	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度のTwitterフォロワー数は、前年度から107名増加、YouTubeチャンネルの公開動画視聴回数は、218,873回増加し、順調です。
＜原因＞
その理由としては、市職員が台本等制作に関わったふるさと納税PR動画等、趣向を凝らした動画の投稿など行ったことで、視聴回数等が増加したものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	91.8	90.8	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	87.7	86	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	400,468	316,750	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	144	172	215

事務事業名 議会だより作成事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 668

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

議会の審議状況や議員活動について市民に解りやすく伝えることにより、議会への関心がより高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・議会の活動状況を広く市民に周知するため議会だよりを定例会ごとに発行し全世帯に配布するとともに、市ホームページに掲載します。
＜令和4年度の発行状況＞
発行月：5月、8月、11月、2月
仕様：A4版16ページ、4色カラー印刷
2月発行分のみ20ページ編成に仕様を変更しました。
発行部数：各号22,000部
配布方法：全戸にポスティング配布
・一般質問掲載ページにQRコードを添付することで市ホームページの議会中継へ容易にアクセスできます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
議会だより配布部数(1回あたり)	部	23,500	22,000	22,000
議会だより編集委員会の開催回数(年間)	回	4	4	4
成果状況				
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	47.1	42.6	47
議会だよりを読んでいる職員の割合	%	73	72.4	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	3,169	0	0	0	0	3,169	
04年度 実績	4,106	0	0	0	0	4,106	
05年度 当初	5,943	0	0	0	0	5,943	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
議会だよりを読んでいる市民の割合は前年度より4.5ポイント減少、職員の割合は0.6ポイント減少しています。
＜原因＞
議会だよりは、市民の議会への関心を高めるためには非常に重要なものであると考えますが、議会だよりを読んでいる割合は、年代により大きく差があり、特に現役世代の割合が低下したことが、減少した主な要因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	47.1	42.6	47
傍聴人数	人	73	45	140
議会インターネット中継アクセス件数	件	2,003	1,793	2,800

事務事業名 議会改革推進事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1964

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市議会議員 市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

先進地の議会改革の内容を調査・研究することにより、議会改革の取り組みが進みます。 議会の情報を公開することにより、透明性を確保し、議会に対する市民の理解と信頼が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・議会改革先進事例の提供 議会改革の参考となる先進地の事例を、議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。 ・議会運営効率化・公開に関する支援 議会運営に係る事務の効率化、経費削減及び審議内容公開等に関して議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
議会改革に係る調査・情報提供件数	件	1	1	1

成果状況	単位	03年度	04年度	05年度
議会改革として取組をすることになった件数	件	1	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 議会改革として取組をすることになった件数は、0件で令和3年度より減少しています。 <原因> 議会改革に係る調査・研究は行いましたが、議会改革の取組には至りませんでした。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	47.1	42.6	47
傍聴人数	人	73	45	140
議会インターネット中継アクセス件数	件	2,003	1,793	2,800

事務事業名 行政評価制度推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	01	基本事業名	行政経営の推進	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 127

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・総合計画に定める体系（政策－施策－基本事業－事務事業）
- ・職員
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・総合計画の進行管理が行えるようになります。
- ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。
- ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPDCAのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施します。
【令和4年度】
4月 まちづくりアンケートの実施
4月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（スプリングレビュー）
7月～ 事務事業評価（サマーレビュー）
9月～ 成果志向型予算編成の実施
12月 まちづくり報告書 事務事業評価報告書策定
2月 実施計画書の策定
※第3次総合計画の策定を行います（審議会を3回予定）。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
説明会・研修会の実施回数	回	2	2	2
評価・点検を実施した事務事業数	事業	114	211	300
成果状況				
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合	%	55.5	53.9	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	10,606	0	0	0	0	10,606	
04年度 実績	11,197	0	0	0	0	11,197	
05年度 当初	5,512	0	0	0	0	5,512	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度の「行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合」は53.9%で、前年度と比較して1.6ポイント減少しました。
<原因>
職員説明会や行政評価に係る研修について、コロナ禍の時期に対面実施からグループウェア活用による書面開催に切替えたことで、指標値が減少したと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
基本事業の目標達成率	%	39.6	40.6	70
PDCAサイクルを意識している職員の割合	%	55.5	53.9	66.7

事務事業名 職員研修事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	年度 ～ 年度		事務事業整理番号	17	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応する職員を育成します。

事務事業の内容、やり方、手順

- (1)研修機関で実施する研修
①山武都市広域行政組合
②千葉県自治研修センター
③市町村アカデミーなど
(2)内部研修
①年間2回の内部研修
②新規採用職員等研修など

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

実施する研修の数

単位

03年度

04年度

05年度

回

47

53

45

成果状況

職員一人当たりの研修受講回数

回数

0.8

0.8

1

多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応できる職員が育成されていると思う職員割合

%

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	898	0	0	0	0	898	
04年度 実績	1,337	0	0	0	27	1,310	
05年度 当初	2,873	0	0	0	18	2,855	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
職員一人当たりの研修受講回数は、令和3年度と同じ0.8を維持しています。
＜原因＞
行政組合や自治研修センターの研修は新型コロナウイルス感染症予防のため受講者数の制限があることや、受講を控える職員もいますが、動画研修等開催もあり昨年同水準を維持しております。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.1	74.7	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.1	78.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.7	98.2	95

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 18

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員（一般職）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

職員が職務を通じて発揮した能力、あげた業績を的確に把握し、公正に評価することで、職員の人材育成、適材適所の任用、適切な給与処遇の実現を目指します。

主な取組み

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・目標設定及び評価調整会議及び期首期末面談等を行い人事評価の精度向上を図り、評価結果を処遇に反映させていきます。
- ・評価者と被評価者の面談を通じて課内のコミュニケーションを促進し、変化、改革を求められる時代のニーズにチーム対応していきます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
研修会開催回数	回	1	1	1

成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	88	84	82
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	49	51	66

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合は、令和3年度より4ポイント低下し、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合が2ポイント増加しました。

＜原因＞
人事評価制度の仕組みや制度の理解は、研修や目標設定度調整会議等の実施により、維持していると考えられます。適正運用については、公平な評価となるよう引き続き調整会議にて評価の適正化に努めます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.1	74.7	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.1	78.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.7	98.2	95

事務事業名 組織体制見直し事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 23

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市が直面する喫緊の課題に機動的に対応できます。
- ・市民に対して効率的な行政サービスが提供できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・現状の課題点の洗い出しを行います。
- ・組織改編に向けて各部署のヒアリング実施します。
- ・大幅な組織の見直しを行う際は、組織モデル案を作成し、庁議及び議会へ報告します。
- ・関係する例規を整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

組織体制見直しに係る打合せ回数

単位	03年度	04年度	05年度
回	11	11	1

成果状況

組織及び事務分掌の見直し回数

回	1	1	1
---	---	---	---

効果的効率的な組織編成（課や事務分掌）ができていると思う職員の割合

%	61.4	61	70
---	------	----	----

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
効果的効率的な組織編成ができていると思う職員の割合は、ほぼ横ばいでした。

＜原因＞
令和3年4月1日付けで組織の大幅な見直しを実施し、その効果が定着したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.1	74.7	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.1	78.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.7	98.2	95

事務事業名 定員適正化推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1089

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を進めます。
・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の適正化を図ります。
・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。
●スケジュール
4月 退職勧奨制度の周知
5月 職員採用計画
6月 地方公共団体定員管理調査
11月 人事に関する各部・各課ヒアリング
3月 職員配置の決定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

各部・各課ヒアリング回数

単位

03年度

04年度

05年度

日

7

6

6

成果状況

定員適正化計画の定員数と職員数の差

人

7

4

0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和5年度当初の定員適正化計画の目標定員450人に対し、実績は446人で、4人少ない状況となっています。
＜原因＞
その理由としては、年度末に向け退職願いの提出があったが、退職者不補充としたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.1	74.7	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.1	78.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.7	98.2	95

事務事業名 ワークライフバランス推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1962

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

仕事と家庭生活の調和のとれた働きやすい職場環境の整備し全ての職員が持てる力を職務遂行に十分発揮し活躍できるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・年次休暇、夏季休暇、男性の育児参加休暇等の取得推進。
- ・ノー残業デーの設定定着の推進。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

休暇・休業制度に関して行った通知等の回数

単位

回

03年度

4

04年度

2

05年度

4

成果状況

年次休暇の平均取得日数

日

11.1

11.7

10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
年次休暇の平均取得日数は、令和3年度から0.6日増加しています。
＜原因＞
年次休暇取得促進の通知により、平均取得日数が昨年度並みに維持していると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	69.1	74.7	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	77.1	78.9	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	93.7	98.2	95

事務事業名 指定管理者指定事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 130

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されています。

事務事業の内容、やり方、手順

公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理候補者の選定を行いました。
【令和4年度】
下記施設について、指定管理者の指定を行いました。
①道の駅オライはすぬま②蓮沼交流センター③大富学童クラブ④南郷学童クラブ⑤鳴浜学童クラブ⑥緑海学童クラブ⑦日向学童クラブ⑧山武北学童クラブ⑨陸岡学童クラブ⑩蓮沼学童クラブ

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
選定委員会開催数	回	2	2	2
成果状況				
指定管理者制度導入施設数	施設	21	29	29

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	56	0	0	0	0	56	
04年度 実績	54	0	0	0	0	54	
05年度 当初	56	0	0	0	0	56	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
指定管理者制度を導入している施設数は昨年度に比べ8施設増加し29施設となりました。
＜原因＞
令和4年度更新対象だった道の駅オライはすぬま、蓮沼交流センターに加え、学童クラブ8施設に指定管理者制度が新規導入されたためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
経常収支比率	%	89.4	93.4	90
実質公債費比率	%	6.6	5.8	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.47	78.26	77

事務事業名 予算管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 155

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計、特別会計及び企業会計

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市会計の予算が適正に編成されるとともに、適正に執行されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市の当初予算及び補正予算等を編成し予算書を作成するとともに、財務会計システムにより予算の執行管理を行います。予算編成にあたっては、総合計画の重点分野及び公共施設等総合管理計画を基とした資源配分の選択と集中により、財政健全化と政策推進のバランスをとる総合計画成果志向型予算編成により適正な予算を編成します。

8月 投資的事業の要求内容確認（サマーレビュー）
9月 予算仮要求（経常的経費、投資的事業）
10月 予算要求説明会、予算本要求
11月 資源配分会議等による予算の調整
12月 市長査定
2月 予算案を議会に提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
評価・点検をした事務事業数	事業	300	-	700

成果状況				
当初予算額（特定財源を含む）	百万円	23,856	23,700	22,820

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
R 5 当初予算額（特定財源含む）は、R 4 年度より880百万円減少し、順調です。一方で、財政調整基金の取崩しは1億7千万円の増額となりました。

＜原因＞
大型事業の終了により総額は減少となりましたが、その大型事業の財源確保のために先送りしてきた老朽化施設の改修工事費用を計上したためです。類似施設の統廃合が進まず、老朽化による維持管理費用が増大しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
経常収支比率	%	89.4	93.4	90
実質公債費比率	%	6.6	5.8	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.47	78.26	77

事務事業名 基金管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 159

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

財政調整基金
その他の基金

事務事業の内容、やり方、手順

各種基金を計画的に有利な条件で運用し、利子の積み立てを行います。また急な支出への対応を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安定した財政運営のため、予算不足を調整する目的として基金が積み立てられています。
また、庁舎整備の財源として利用することを目的とした基金等が積み立てられています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
基金取崩し額（単年度）	百万円	1,034	855	1,653
基金積立額（単年度）	百万円	1,774	1,357	309
成果状況				
財政調整基金残高	百万円	5,713	5,835	4,887

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,324,604	0	0	0	111,159	1,213,445	
04年度 実績	656,739	0	0	0	119,133	537,606	
05年度 当初	109,154	0	0	0	93,220	15,934	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
財政調整基金残高は、当初の見込みより900百万円増加し、順調です。
＜原因＞
松尾小学校新校舎建設費確定等による事業費減額及び地方交付税の追加交付やコロナ禍の影響からの回復傾向にある市税の税収増などで歳入が増額したことにより、繰入額が減少したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
経常収支比率	%	89.4	93.4	90
実質公債費比率	%	6.6	5.8	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.47	78.26	77

事務事業名 滞納整理事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 248

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税滞納者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・現年度滞納が解消されています。
- ・過年度滞納が縮減されています。
- ・収納率が向上しています。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・未納の納税義務者に対して、納税催告の文書催告、電話催告、訪問を行い、滞納整理に早期着手をして滞納額の縮減を図りました。
- ・納付誓約不履行者や納税意思のない者などの悪質な滞納者に対して、滞納処分を執行しました。
- ・処分可能な財産の有無を徹底的に調査し、無資力な者は、執行停止の処分を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
納税催告送付件数	件数	10,421	6,381	11,000
滞納処分決議数	件数	176	200	180
成果状況				
市税収納率（現年度）	%	98	97.89	98.1
市税収納率（過年度）	%	26.1	20.64	26.5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,523	0	0	0	0	1,523	
04年度 実績	1,834	0	0	0	0	1,834	
05年度 当初	3,111	0	0	0	2	3,109	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
収納率は、現年度は0.11ポイント、過年度は5.46ポイント低下しました。

＜原因＞
納税催告、滞納処分の徹底及び千葉県と連携して市県民税の滞納整理を行い、現年度は横ばいを維持。過年度は、令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う納税猶予特例措置を受けた市税が、過年度分として収納されたことで、令和3年度の収納率が一時的に増加しましたが、近年の収納率としては横ばいで推移しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市税収納率	%	98	97.89	98.53

事務事業名 市税等徴収事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ①市税（市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税）の納税義務者
②収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会が拡大し、納税者の利便性が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・納税義務者に納付機会の拡大を推進します。（口座振替やコンビニエンス等での納付）

・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督促状を発生納付を促します。

- ①当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンス納付等のご案内を同封しお知らせします。
②防災行政無線及び広報さんむ等で周知します。
③納税義務者が口座振替、コンビニ納付及びスマートフォン決済アプリ納付をした場合の手数料は無料です。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

納期内納付啓発回数

口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ者数

成果状況

督促状発送件数

口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合

単位	03年度	04年度	05年度
回	12	12	12
人	45,755	45,834	55,000
件	20,456	20,039	20,000
%	64.5	62.3	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	10,920	0	0	0	0	10,920	
04年度 実績	12,052	0	0	0	0	12,052	
05年度 当初	12,698	0	0	0	0	12,698	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して、督促状発送件数は417件減少しました。また、口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合は2.2ポイント低下しましたが、スマートフォン決済アプリを利用した納付件数及び納付額は増加しています。
＜原因＞
広報さんむ及び市ホームページ等で納付に関する広報を継続的に実施したことにより、期限内納付者が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市税収納率	%	98	97.89	98.53

事務事業名 本庁舎整備事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 23 年度 ～ 令和 07 年度			事務事業整理番号 1471

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎施設、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

本庁舎に機能が集約され、円滑かつ効率的な行政事務が行われると共に、施設利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

施設利用者の利便性向上のため、本庁舎施設の環境整備を行います。また、本庁舎施設の老朽箇所や不良箇所の整備を計画的に行うことで、本庁舎施設の省エネ化や長寿命化を図ります。

平成27年度 本館空調設備改修工事
平成28年度 本庁舎駐車場等整備工事（新設）
本庁舎駐車場等整備工事（既存）等
令和元年度 電話設備機器改修工事
令和3年度 喫煙所設置工事
令和4年度 本庁舎受変電設備等改修工事
本庁舎浄化槽改修工事実施設計

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
打ち合わせ回数	回	12	4	12
成果状況				
整備した面積	m ²	82.8	0	84

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	135,426	0	0	128,600	6,826	0	
04年度 実績	1,584	0	0	1,500	0	84	
05年度 当初	196,887	0	0	186,500	9,897	490	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
施設利用者が安全かつ快適に本庁舎施設を利用できるよう、耐用年数を経過した浄化槽設備の改修に向けた設計業務が計画どおり実施されており順調です。

＜原因＞
本庁舎施設の長寿命化を図るため、耐用年数を経過した浄化槽設備改修の設計に係る打合せを適切に実施したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	54.6	50
公共施設維持管理費	万円	165,221	179,298	192,000

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1731

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が保有する公共施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強く求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画、管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。
【事業内容】
平成28年度～平成30年度 保全情報システム更新・運用
平成30年度～令和2年度 公共施設個別施設計画策定
令和3年度 公共施設等総合管理計画改訂

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
維持管理費削減に係る取組数	件	87	87	87
成果状況				
公共施設維持管理費	千円	1,652,210	1,792,984	1,792,984

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	7,711	0	0	0	0	7,711	
04年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	
05年度 当初	1,166	0	0	0	0	1,166	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
公共施設維持管理経費は前年度と比較して140,774千円増加しました。
<原因>
松尾小学校新校舎建設に伴う備品購入費等が増加したことが主な要因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	54.6	50
公共施設維持管理費	万円	165,221	179,298	192,000

事務事業名 さんぶの森交流センターあららぎ館施設管理事業

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 22 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1198

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
さんぶの森交流センターあららぎ館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民や市民活動団体の活動する場が確保され、自主的な活動が活発になります。
適切な施設管理がされ、安全かつ快適に利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
・多目的室：1（やまゆり）、2（のぎく）、3（ひまわり）、4（ききょう）、5（あかぐも）、6（りんかん）
合計6室
・調理実演室
・ジャイアントシェルター棟
・駐車場
・開館時間：午前9時から午後5時まで
・休館日：毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館日
・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
交流センター利用回数	回	440	617	500
成果状況				
交流センター利用者数	人	5,937	9,014	8,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	11,933	0	0	0	217	11,716	
04年度 実績	10,163	0	0	0	286	9,877	
05年度 当初	10,885	0	0	0	252	10,633	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ● 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
利用件数は前年度と比較して177回、利用者数は3,077人増加しました。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症予防対策で緊急事態宣言に伴い行っていた、あららぎ館施設の休館等による貸出制限が無かった為、利用者数が増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	54.6	50
公共施設維持管理費	万円	165,221	179,298	192,000

事務事業名 蓮沼出張所管理運営事業

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 180

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

施設利用者、蓮沼出張所

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設の適切な維持管理が行われ、安心して利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼出張所の維持管理業務を行います。

消防設備保守点検委託
清掃委託（日常清掃・床及び窓ガラス清掃）
自動扉保守点検委託
貯水槽清掃委託
警備委託
浄化槽管理委託
空調機器清掃委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

庁舎施設の修繕件数

単位

03年度

04年度

05年度

数

7

4

2

成果状況

庁舎施設の不具合件数

数

7

4

2

トラブル件数

数

0

0

0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	4,671	0	0	0	33	4,638	
04年度 実績	3,992	0	0	0	47	3,945	
05年度 当初	4,945	0	0	0	31	4,914	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
玄関雨漏り、エアコン室内機、トイレ引戸車、照明器具の不具合の計4件、修繕を行いました。
<原因>
昭和62年竣工の施設のため、経年劣化により修繕が発生しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	54.6	50
公共施設維持管理費	万円	165,221	179,298	192,000

事務事業名 松尾IT保健センター施設等改修事業

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2019

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾IT保健福祉センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設管理経費の削減と環境に良い発電設備を整えます。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾IT保健福祉センターの太陽光発電システムPCS等交換工事を行い、同システムを復旧しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
委託件数	件	0	1	0
工事件数	件	0	1	0
成果状況				
改修進捗率	%	0	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	7,480	0	0	0	7,480	0	
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度予定していた施設等の改修は1件で完了しており、順調です。
＜原因＞
その理由としては、施設等の改修工事が計画通りに進捗され、3月10日に完成し、施設管理経費の削減と環境に良い発電設備を整えたからです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	54.6	50
公共施設維持管理費	万円	165,221	179,298	192,000

事務事業名 学校等跡地利活用検討事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2076

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

閉校となる小中学校等の跡地施設（校舎・運動場等）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

閉校となる小中学校等の跡地施設について、有効活用が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・「山武市学校等跡地の利活用方針」に基づき利活用策を検討
・民間事業者等による利活用として公募の実施
・文部科学省や千葉県の実業支援事業を活用し、専用サイトでの公募情報の公開等、有効活用に向けた情報発信を実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
学校等跡地利用の周知PR回数	回	5	5	
学校等跡地利用希望者との相談回数	回	29	13	
成果状況				
学校等跡地利用希望者からの照会件数	件	20	11	
学校等跡地の利活用者の決定件数	件	2	1	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	222	0	0	0	0	222	
04年度 実績	17,995	0	1,054	0	2,013	14,928	
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
旧山武西小学校の跡地利活用については、公募により10件の照会があり、プロポーザルにて利活用事業の優先交渉権者が決定されましたが、住民説明会の後、交渉権辞退となりました。
＜原因＞
利活用提案事業者の公募に際し、国や県と連携しながら幅広く周知したことにより、多くの事業者からの照会を受けました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	49.1	54.6	50
公共施設維持管理費	万円	165,221	179,298	192,000

事務事業名 情報通信機器管理事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	06	基本事業名	情報化の推進と適正管理	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 140

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員
情報通信機器
(サーバ、パソコン、プリンタ)

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

情報通信機器が安定稼働しています。

事務事業の内容、やり方、手順

情報通信機器が効率的に安定稼働する為の管理運用を行いました。

- ・機器の導入準備 仕様、数量の検討
- ・機器の運用管理 保守（予防保守、障害対応、修繕）
運用（セキュリティ対策、メンテナンス、最適化）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
機器保守点検回数	回	246	245	245
成果状況				
業者対応障害発生件数	件	22	36	40

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	49,952	0	0	0	0	49,952	
04年度 実績	79,999	0	0	0	0	79,999	
05年度 当初	67,475	0	0	0	0	67,475	

※繰越額は、当該年度の事業費のほか、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
業者対応障害発生件数は、36件と前年度比14件増加しました。
主な障害内容はプリンタの故障で、サーバ等重要機器については重大な障害発生はありませんでした。
＜原因＞
ほとんどの障害はプリンタの故障で、経年劣化が原因と考えられるため、順次更新が必要になります。サーバ等重要機器については、毎日の点検により予備保守を実施したことから重大な障害発生はなかったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民割合	%	46.5	46.2	31
主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）	時間	0	4	0

事務事業名 電子自治体構築事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	06	基本事業名	情報化の推進と適正管理	
計画年度	平成 21 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1157

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
基幹系システム

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民がコンビニ等で税金等を納められます。
税及び住民記録システムが安定稼働しています。

事務事業の内容、やり方、手順

基幹系業務（住民基本台帳、税、国保等）のシステム運用及び機器の保守を行いました。

令和 4 年 1 月 団体内番号連携サーバ更新
2 月 住基・税システムの更新（自治体クラウド）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
職員・業者との会議回数	回	50	30	30
システム、機器保守点検件数	件	246	266	250
成果状況				
コンビニ等で納付できる種類（税、料の公金の項目数）	種類	6	6	6
障害発生件数	件	0	2	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	39,574	1,064	0	0	0	38,510	
04年度 実績	13,766	0	0	0	0	13,766	
05年度 当初	14,182	0	0	0	1,783	12,399	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
基幹系システムにおいて、起動不能障害が7月7日と9月20日の2回発生しました。
＜原因＞
1 回目は、ネットワークアダプタとVmware及びOSとの組み合わせ不良による不具合で、アダプタの交換を実施しました。2 回目は、基幹系スイッチのCPUが高負荷状況になったことによる、基幹系ネットワークの通信不良が原因で、スイッチの再起動を実施しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民割合	%	46.5	46.2	31
主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）	時間	0	4	0

事務事業名 例規・法制支援事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1476

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員、市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

例規の制定改廃にかかる職員の事務の合理化、省力化を図ります。
また、条例・規則等の制定、改正等を適正に行い、事務の公正の確保と透明性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

例規立案、例規集の作成及び既存例規データ更新等に関する業務を委託により実施します。
（業務内容）
・制定改廃した例規を既存の例規集に溶け込ませ、データベースを更新する。（年4回）
・法令・判例情報の提供（随時）
・法制執務に係る相談（随時）
・例規起案ソフトによる例規立案支援（随時）
市が行う各種行政手続について、標準処理期間や申請書、必要添付書類等の整理を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
例規データベース更新回数	回	4	4	4
例規制定改廃件数	件	220	214	150
成果状況				
例規データ更新スケジュール順守率	%	100	100	100
例規改正漏れ件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	4,331	0	0	0	0	4,331	
04年度 実績	4,325	0	0	0	0	4,325	
05年度 当初	4,318	0	0	0	0	4,318	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
例規データ更新スケジュール順守率は100%でした。
<原因>
最新法令の情報収集や例規改正手続きなど、例規支援システムの活用によって効率的に事務が進められているものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値

事務事業名 出納係事務費

会計課 会計課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	01	基本事業名	適正な会計処理	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 666

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・債権者 ・会計業務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

債権者に対する公金の支払いが確実に Rowe れます。

事務事業の内容、やり方、手順

支出負担行為の確認及び支出命令の審査を行い、適正な会計処理を行い、口座振替払では、「パソコンバンクサービス（振込データ等の伝送）」を利用し支払いの手続きを行います。 【振込処理不能が発生した場合の処理】 （指定金融機関）→振込組戻通知書→（会計課）→連絡→（所管部署） ①同日13時までには正当な債権者情報が確認できたものは、指定金融機関に対し再振込の依頼を行います。 ②確認ができないものは、戻入の手続きを行い、再振込の手続きを行います。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
口座振替期日における指定金融機関からの振込不能返却報告書に基づく債権者への振込不能件数	件	180	172	170
口座振込不能により資金返却された件数のうち、同日に再振込の措置を講じ、正当債権者に支払が行われた件数	件	132	123	139
成果状況				
口座振込支払期日における振込不能件数に対する資金返却同日に再度振込し債権者に支払うことができた件数の割合	%	73	72	82
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	10,799	0	1,513	0	143	9,143	
04年度 実績	11,077	0	1,092	0	145	9,840	
05年度 当初	11,119	0	1,241	0	119	9,759	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況	☐ 非常に順調	☒ 順調	☐ 一部遅延あり	☐ 遅延あり
②事業成果状況	☐ 向上	☒ 維持・横ばい	☐ 低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 再度振込をし、支払うことができた件数の割合は、前年度より1ポイント低下しました。 <原因> 新型コロナウイルス関連の給付金の支給があり、金融機関との契約による制限のため、同日振込ができなかったことが考えられます。また、振込不納返却報告書が随時ファックスで連絡されており、所管部署が正当な債権者情報を確認する時間が多くとれるようになり、振込不納件数は、当初の予定より減少したと考えます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
口座振替支払期日における支払不能件数	件	34	43	43

事務事業名 監査委員事務局事務費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 683

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

事務局の監査庶務事務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正かつ円滑に監査事務等が処理されています。

事務事業の内容、やり方、手順

監査等に関する次の事務を行います。
・監査委員並びに関係各課等との連絡調整
・監査等の結果の報告、公表
・監査等の参考資料収集
・その他庶務

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
監査委員との打ち合わせ回数	回	35	38	30
事務局内打ち合わせ回数	回	35	38	30
成果状況				
手続きミス及びトラブル発生件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	416	0	0	0	0	416	
04年度 実績	423	0	0	0	0	423	
05年度 当初	320	0	0	0	0	320	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
手続きミス及びトラブル発生件数は0件で、順調です。
＜原因＞
監査等の実施前は事務局内及び監査委員と綿密な打ち合わせを行い、共通の認識をもって監査等に臨んだことによるものと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100

事務事業名 監査委員活動費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 684

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計 特別会計 企業会計 市役所全部署

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市監査計画に基づき、各監査等を実施します。 1 例月現金出納検査…現金の残高や出納事務が適正に行われているかどうかを主眼として実施 2 決算審査、基金運用状況審査…決算の計数の正確性や事業の経営が適正に行われているかどうかを主眼として実施 3 健全化判断比率等審査…健全化判断比率及び資金不足比率並びに書類の係数が適正かどうかを主眼として実施 4 定期監査…財務の執行や事業の管理が適正に行われているかどうかを主眼として実施 5 工事監査…技術面の調査を技術士に委託して実施 6 財政援助団体等監査…当該財政的援助等に係る出納その他の事務執行が適正に行われているかどうかを主眼として実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
監査等を実施した件数	件	5	6	6
成果状況				
指摘事項等の件数	件	54	66	66
計画に対する監査等実施率	%	100	120	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
04年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
05年度 当初	1,092	0	0	0	0	1,092	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 指摘事項等の件数は前年度より12件増加し、計画に対する監査等実施率は前年度より20ポイント増加しました。 <原因> 指摘事項等の件数は増加しましたが、監査等により是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われるようになります。なお、指摘事項等は、すべて措置が講じられています。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100

事務事業名 情報公開・個人情報保護事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	04	基本事業名	情報公開及び個人情報保護の推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 16

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等から請求があった情報公開、個人情報の開示に関する事務を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市の保有する情報を市民等が容易に入手できます。
市が保有する個人情報が適正に管理保護されます。

事務事業の内容、やり方、手順

情報公開・個人情報保護制度の運用に関する業務を行います。
・公文書開示請求、個人情報開示請求の受付(随時)
・個人情報登録簿の管理（変更のある毎）
・情報公開・個人情報保護制度に関する相談（随時）
・情報公開審査会、個人情報保護審査会の開催（不服申出がある毎）
・運用状況の公表（年1回）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
開示請求受付件数	件	72	42	30
職員に対し個人情報の取扱いに関する注意喚起を行った件数	件	2	3	2
成果状況				
情報公開開示件数	件	65	40	30
個人情報漏洩件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績	2,129	0	0	0	6	2,123	
05年度 当初	78	0	0	0	2	76	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
開示請求件数が前年度よりも30件減少しました。
個人情報の漏洩事案は発生しませんでした。
＜原因＞
特定の市民からの情報公開開示請求がなくなったため、件数が減りました。
個人情報の取扱いについて、継続的に注意喚起を行っていることから、漏洩事案は発生しませんでした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
不服申立による変更件数	件	0	0	0
個人情報の漏洩件数	件	0	0	0

事務事業名 受付案内事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2138

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎に来庁した方からの問合せに対し、受付窓口において適正な案内を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

来庁した方が、目的の部署まで迷うことなく行くことが出来ます。
職員の窓口対応の負担軽減が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

次の業務を外部委託により実施します。
・来庁者への応接業務（積極的な用件伺い、挨拶、声かけ等）
・各窓口・諸室等の位置、行き先に関する案内
・広報紙の掲載記事に関する情報提供
・総合窓口等における諸証明等発行事務補助
・正面玄関周辺の衛生管理（清掃・消毒等）
・案内看板等の出し入れ 等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
窓口案内者数	人	13,489	14,511	13,500
成果状況				
案内によって生じた苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	1,917	0	0	0	0	1,917	
04年度 実績	1,925	0	0	0	0	1,925	
05年度 当初	1,942	0	0	0	0	1,942	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
本庁舎の来訪者の案内によって生じた苦情件数は、0件でした。
＜原因＞
案内業務をシルバー人材センターに委託しているところ、適正に受付案内業務が行われているものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.9	84.7	84

事務事業名 戸籍事務費

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 215

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

戸籍の届出者及び証明書申請者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

来庁目的を的確に把握し、交付証明書及び届出書の行き違いをなくします。

事務事業の内容、やり方、手順

出生・死亡・婚姻・離婚等の届出書の受付・審査、戸籍の証明書発行、犯歴・刑罰・身上照会、公職選挙法に関する事務を行いました。
届出件数1,386件 証明事件数21,094件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

それぞれの届出書件数および証明書交付件数ならびに照会件数

単位	03年度	04年度	05年度
件	21,092	22,480	20,000

成果状況

届出書、交付証明書の不具合件数の割合

%	0	0	0
---	---	---	---

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	231	0	47	0	184	0	
04年度 実績	383	0	47	0	336	0	
05年度 当初	450	0	46	0	328	76	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
届出書及び交付証明書の不具合は発生しておらず順調です。
＜原因＞
聞き取り等により来庁目的を明確に把握することで、行き違いが生じないよう努めています。また研修会に参加し自己研鑽に努めました。窓口サービス向上のため、業務改善をして事務の効率化を図りました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.9	84.7	84

事務事業名 窓口サービス向上事業

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

窓口サービス利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

窓口での手続きの円滑化と時間短縮が図られ、窓口サービスの満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

外国人住民が増加しているため、住民異動届、印鑑登録申請書、印鑑登録証明書交付申請書、仮ナンバー申請書について英語、シンハラ語の記入例を作成し、記載台に設置しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
窓口サービス向上に係る取組の検討件数	件	1	1	1
成果状況				
窓口サービス向上に係る取組の導入件数	件	1	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績							
04年度 実績							
05年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和4年度の窓口サービスの向上に係る取組の導入件数は1件で、外国人住民向けの申請書等記入例を作成しました。

＜原因＞
外国人住民向けの申請書等記入例を作成したことで、窓口での手続きがスムーズに行え、対応時間が短縮できました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.9	84.7	84

事務事業名 山武出張所事務費

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 218

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。 ・税金等の収納機関として利用できます。
--

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出 41件 諸証明交付 1,775件 ・住民基本台帳に関する届出 509件 諸証明交付 4,085件 ・マイナンバーカード発行申請等 557件 ・印鑑登録 122件 印鑑証明交付 3,344件 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,336件 ・各種税関係申請等の收受 560件 諸証明交付 1,316件 ・市税等の収納 6,863件 ごみ袋販売 186件 ・障害者福祉等に関する届出 1,186件 ・児童手当等に関する届出 244件 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 369件 ・交通安全共済の申請 130件 緑の羽根募金の受付 65件 ・その他の申請及び届出 110件
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
窓口サービス取扱件数	件	24,282	22,798	22,000
成果状況				
出張所利用者数	人	19,399	18,728	18,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	526	0	0	0	526	0	
04年度 実績	405	0	0	0	405	0	
05年度 当初	416	0	0	0	416	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 窓口サービス取扱件数は、前年度と比較して1,484件、利用者数は、671人減少しています。 <原因> マイナンバーカードを利用したコンビニ交付の普及により、証明書交付件数が減少したことや、新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、来庁者が減少したことが考えられます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.9	84.7	84

事務事業名 蓮沼出張所事務費

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 217

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄の出張所で受けられます。 ・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出118件 ・諸証明交付726件 ・住民基本台帳に関する届出877件 ・諸証明交付674件 ・マイナンバーカード発行申請等60件 ・印鑑登録48件 ・印鑑証明交付795件 ・国保・後期高齢・年金に関する届出1487件 ・各種税関係申請等の収受449件 ・諸証明交付359件 ・市税等の収納2380件 ・ごみ袋販売91件 ・障害者福祉等に関する届出221件 ・児童手当等に関する届出40件 ・要介護及び要支援認定等に関する届出156件 ・交通安全共済の申請63件 ・緑の羽根募金の受付16件 ・その他申請及び届出107件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
窓口サービス取扱件数	件	5,948	8,667	5,921
成果状況				
出張所利用者数	人	4,914	7,071	5,102

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	114	0	0	0	114	0	
04年度 実績	131	0	0	0	131	0	
05年度 当初	182	0	0	0	182	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数ともに増加傾向にあります。また、マイナンバーカード関連や福祉関連業務の一人当たりの所要時間も増加傾向にあります。 ＜原因＞ 人口自体は減少していますが、外国人を対象とした研修施設があることから、外国人の移動に伴う手続きが多くなっています。そのため、取扱件数・利用者数ともに増加したと思われます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.9	84.7	84

事務事業名 松尾出張所事務費

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出及び諸証明交付 1,583件
・住民基本台帳に関する届出及び諸証明交付 2,351件
・マイナンバーカード発行申請等 69件
・印鑑登録及び印鑑証明交付 1,723件
・国保・後期高齢・年金に関する届出 997件
・各種税関係申請等の收受及び諸証明交付 1,523件
・市税等の収納 4,272件・ごみ袋販売 120件
・障害者福祉等に関わる届出 986件
・児童手当等に関する届出 163件
・要介護及び要支援認定等に関する届出 494件
・交通安全共済の申請 168件・緑の羽根募金の受付 46件
・その他の申請及び届出 189件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
窓口サービス取扱件数	件	15,610	14,684	16,000
	件			
成果状況				
出張所利用者数	人	12,386	11,714	13,000
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	456	0	0	0	456	0	
04年度 実績	317	0	0	0	317	0	
05年度 当初	444	0	0	0	444	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 松尾出張所の窓口サービス取扱件数は前年度と比較して926件、利用者数は672人減少しています。今年度に限らず、ここ数年窓口サービス取扱件数及び利用者数は減少していますが、順調です。
＜原因＞ 慢性的な人口減少と市民サービス向上のための提出書類の減少、マイナンバーの活用による減少が多くなったからと思われる。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	82.9	84.7	84

事務事業名 個人住民税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 233

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有する個人
市内に事務所、事業所又は家屋敷を有する個人で市内に住所を有しない者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公平かつ適正な課税を実施することにより、納税意欲高揚を図り、収納率の向上を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

当該年分の所得に係る所得税確定申告、住民税申告並びに給与・年金支払報告書等の所得等データにより個人住民税を課税しました。
税制改正点について市民へ周知の徹底を図りました。
給与特別徴収納期限 毎月10日
普通徴収 第1期納期限 6月末・第2期納期限 8月末
第3期納期限 10月末・第4期納期限 翌年1月末
年金特別徴収については、4月、6月、8月、10月、12月、2月の年金支給時。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
納税義務者数	人	25,191	24,967	24,226
納税額	千円	2,104,210	2,124,739	2,082,692
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
市民税収納率	%	98.05	97.54	97

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	10,474	0	10,474	0	0	0	
04年度 実績	10,387	0	10,387	0	0	0	
05年度 当初	11,415	0	11,415	0	0	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度に比べ、収納率が0.51ポイント低下しました。
＜原因＞
物価や資材の高騰が納付するための資力に影響を及ぼしていると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件	0	0	0

事務事業名 固定資産税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	昭和 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 236

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に固定資産（土地・家屋・償却資産）を有する納税義務者（地方税法第343条に基づく）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

固定資産税が法令に基づき適正で公平な課税が行われています。

事務事業の内容、やり方、手順

土地の現況調査、法務局からの税務通知による異動処理（土地・家屋）、償却資産の申告事務により課税データの整備、賦課を実施します。
土地 233,344筆
家屋 42,833棟
償却資産 1,321人
第1期納期限 5月末日
第2期納期限 7月末日
第3期納期限 9月末日
第4期納期限 12月末日

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	03年度	04年度	05年度
土地異動処理件数	件	7,919	8,885	7,200
現況調査家屋数	棟	408	409	400
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
新增築家屋の評価棟数	棟	235	186	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
03年度 実績	5,032	0	0	0	0	5,032	
04年度 実績	4,962	0	0	0	0	4,962	
05年度 当初	5,742	0	0	0	0	5,742	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

04年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
審査申し立てによる更正件数は0件で順調です。新築家屋の評価棟数は186棟で、前年度と比較し減少しています。
＜原因＞
土地、家屋の異動処理、償却資産の申告入力などを的確に行ったことにより、更正が発生しなかったことによると思われます。また、評価棟数の減少は、令和4年度に完成した家屋の減少に加え、未評価家屋の新規登録棟数が減少したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	03年度	04年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件	0	0	0

